

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：諏訪・藪崎・田中・林・松本・高橋

(単位:千円)

	5年度 A	4年度 B	増△減(A-B)
予算額	921,699	643,062	278,637

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
1 パスモ2023年度施策(早期)	234,827
(1 事業目的・内容) 【事業目的】 ICカード「PASMO」の機能改善等を他事業者と統一するためのシステム改修 【内容】 パスモではお客様の利便性向上として、PASMOの利用範囲拡大やサービス向上に取り組んでおり、本市で設置しているパスモ対応機器のソフトウェア改造作業を行います。 【作業完了予定】 令和5年上期 (2 前年度から変更・見直した点) 改修内容の変更 (3 根拠法令・規程、現場の意見等) なし (4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無) <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：諏訪・藪崎・田中・林・松本・高橋

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
2 パスモ2023年度施策(年度末)	489,033
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>【事業目的】 ICカード「PASMO」の機能改善等を他事業者と統一するためのシステム改修</p> <p>【内容】 パスモではお客様の利便性向上として、PASMOの利用範囲拡大やサービス向上に取り組んでおり、本市で設置しているパスモ対応機器のソフトウェア改造作業を行います。</p> <p>【作業完了予定】 令和5年度末</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点) 改修内容の変更</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 05 改良費	所属: システム推進課 担当者名: 諏訪・藪崎・田中・林・松本・高橋

【事業内容】	(単位:千円) 5年度予算額
4 監視盤遠隔操作用端末購入	
(1 事業目的・内容) 導入から約9年経過し、機器の老朽化による不具合が多発している監視装置の機能を駅窓口には設置されている監視盤に統合し、駅事務室から当該機器を遠隔操作するための端末を購入します。	
(2 前年度から変更・見直した点) なし	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無) <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	(5 補助対象の有無) <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

【事業内容】	(単位:千円) 5年度予算額
5 改札機IC処理ソフトウェア利用許諾契約に基づく個別改訂版ソフトウェアの支払契約	30,492
(1 事業目的・内容) 【事業目的】 自動改札機でのPASMO、Suicaの利用環境の維持 【内容】 首都圏でのICカードの相互利用サービスに必要となる自動改札機のソフトウェアに対し毎年行う改修について、機器設置台数分の利用許諾料を支出します。 【機器設置台数】 自動改札機 229台(模擬環境用の2台除く)	
(2 前年度から変更・見直した点) 新横浜駅中央改札開業に伴う設置台数の増(+5台)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無) <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	(5 補助対象の有無) <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：諏訪・藪崎・田中・林・松本・高橋

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
<p>6 事務改善システム仕様変更業務委託</p> <p>(1 事業目的・内容)</p> <p>【事業目的】 事務の効率化</p> <p>【内容】 人事給与・旅費管理・財務会計のシステムにおいて、制度改正等の改修を実施します。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：システム推進課 担当者名：諏訪・藪崎・田中・林・松本・高橋

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
7 事務改善システム機器更新業務委託	
<p>(1) 事業目的・内容)</p> <p>【事業目的】 老朽化した機器を更新します。</p> <p>【内容】 人事給与・旅費管理・財務会計のシステム機器の使用年数が7年を超えるため、令和4年度から5年度にかけて更新します。</p> <p>(2) 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4) 除却資産の有無) (5) 補助対象の有無)</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
8 入退室・監視カメラ管理システム更新	
<p>(1) 事業目的・内容)</p> <p>【事業目的】 老朽化した機器を更新します。</p> <p>【内容】 データ集計室の入退室システムの使用年数が8年を超えるため、更新します。</p> <p>(2) 前年度から変更・見直した点)</p> <p>機器の状態等を考慮し、令和4年度は更新を見送りました。 また、カードキー紛失等の事故防止のため、静脈認証を導入します。</p> <p>(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4) 除却資産の有無) (5) 補助対象の有無)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：資産活用課 担当者名：金子、高澤

(単位：千円)

	5年度 A	4年度 B	増△減(A-B)
予算額	65,464	2,394	63,070

(単位：千円)

【事業内容】	5年度予算額
1 耐震補強工事に伴う補償費	2,834
(1 事業目的・内容) 横浜交通開発株式会社から令和3年3月31日付「高架橋耐震補強工事に伴う補償等に関する協定書 その2」の規定に基づく補償費	
(2 前年度から変更・見直した点) 前年度まで施設課予算から流用して執行	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

(単位：千円)

【事業内容】	5年度予算額
2 広告管理システムリプレイス費用	
(1 事業目的・内容)	
(1) Windowsサーバーの更新対応 現在使用している広告管理システムのOSが、Windows server 2012であり、令和5年度中にメーカーによるサポート期限が終了することから、新OSに対応するよう改修します。	
(2) クラウドの導入 現状使用しているサーバー用ハードウェアから、クラウドに変更します。	
(3) 事務の効率化、改善に向けた改修 請求事務作業等における機能を改修することで、事務の効率化及び改善を図ります。	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：資産活用課 担当者名：金子、高澤

(単位：千円)

【事業内容】	5年度予算額
3 電飾看板のLED化業務委託	
(1 事業目的・内容)	
<p>製造を中止した蛍光灯器具、製造が縮小傾向にある蛍光灯式看板をLED化します。 対象の駅は、あざみ野駅、仲町台駅、新羽駅とします。</p> <p>(背景等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通局で設置している電飾看板(約530枚)の約8割は、蛍光灯を使用した型式となっています。 ・LED化を進める政府方針に基づき、各メーカーでは蛍光灯器具及び蛍光灯の順次生産中止を打ち出しています。 ・当局が使用している蛍光灯器具は既に生産を中止、蛍光灯の生産量は減少しています。 ・大半の蛍光灯式看板は、設置から10年以上が経過し、老朽化により照明器具が不具合を起こし不点灯となる件数も増加傾向にあり、このまま行くと、将来的には照明器具の交換が不能になり、広告料金の返金、契約解除のみならず、市営交通広告の信頼度低下に繋がります。 ・このため、令和5年度は、稼働中の看板数や広告料収入が多く不点灯となった場合の影響が大きく、かつ駅の改修工事が予定されていないため、工事の中に含めて実施ができない「あざみ野駅」「仲町台駅」「新羽駅」においてLED照明に交換することとします。 	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

(単位：千円)

【事業内容】	5年度予算額
4 横浜駅デジタルサイネージ設置業務委託	
(1 事業目的・内容)	
<p>横浜駅のデジタルサイネージは、パートナーシップ事業により事業者を公募のうえ、設置から管理まで事業者が行っています。 (事業者の負担により設置・運営。事業者が広告料金を受け取り、交通局へは固定額を納入)</p> <p>現行事業が令和5年9月末をもって満了となることから、その後は交通局が設置し、オープンで販売の上、広告料の増収を図ります。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：安全教育センター 担当者名：坂井、浅田、松尾、山岸

(単位:千円)

	5年度 A	4年度 B	増△減(A-B)
予算額		20,000	

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
1 10000形運転シミュレータ6両化改修	
(1 事業目的・内容)	
グリーンライン6両化に伴い、教材であるシミュレータも6両化とし、さらに故障処置等イベントを追加し、講習の質を高めます。	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：営業課(高速) 担当者名：松村

(単位:千円)

	5年度 A	4年度 B	増△減(A-B)
予算額		1,250	

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
1 クレジット決済システム改修費	
(1 事業目的・内容)	
<p>クレジットカード決済システムのバックアップ回線で使用している通信サービスが令和6年1月に終了するため、新たな通信サービスに切り替えを行うとともに、新たにバックアップ回線用のルーターを新設します。</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：運転課 担当者名：川畑

(単位:千円)

	5年度 A	4年度 B	増△減(A-B)
予算額		1,320	

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額																					
1 ダイヤ作成装置改修	0																					
<p>(1 事業目的・内容) 主に市営地下鉄のダイヤ作成を行うダイヤ作成装置について、予備を含め2台を設置していますが、うち1台が故障により使用できない状態であり、また予備機についても一部機能に不具合が発生しています。 ダイヤ作成装置はダイヤ改正業務に不可欠であるため改修を行います。 なお、現在設置している装置の修理対応が困難なため、新規に発注することに対応します。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>(6 年次表)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>4年度予算</th> <th>5年度予算</th> <th>6年度予定</th> <th>7年度予定</th> <th>8年度以降</th> <th>総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>債務負担設定</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総額	事業費							債務負担設定						
	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総額																
事業費																						
債務負担設定																						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：運転課 担当者名：川畑

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
2 アルコール測定器用PC端末の更新 (1 事業目的・内容) 地下鉄の運転業務に携わる職員は、就業前に呼気内のアルコール濃度を測定することで、酒気帯び状態で運転することを予防しています。 その際に使用するアルコール測定器について、設置からの経年により更新が必要な機器、ソフトウェアの更新を実施します。 (2 前年度から変更・見直した点) (3 根拠法令・規程、現場の意見等) 経年劣化によりディスプレイに不具合が生じているものもあり、交換の要望が出ています。 (4 除却資産の有無) <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (5 補助対象の有無) <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：駅務管理所 担当者名：磯貝・村川・関・伊藤

(単位:千円)

	5年度 A	4年度 B	増△減(A-B)
予算額	4,416	1,320	3,096

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額														
1 空気呼吸器更新															
(1 事業目的・内容)															
<p>現在配備中の空気呼吸器の多数が、メーカーの修理基準(15年)を経過しており、1年に1回の定期点検で不具合があった場合、修理ができないため、一定数ずつ更新します。</p>															
<table> <tbody> <tr> <td>【空気呼吸器本体】</td> <td>【高圧空気容器】</td> </tr> <tr> <td>1998年製・・・8台</td> <td>1992年製・・・8本</td> </tr> <tr> <td>2000年製・・・9台</td> <td>1998年製・・・12本</td> </tr> <tr> <td>2001年製・・・23台</td> <td>1999年製・・・1本</td> </tr> <tr> <td>2002年製・・・6台</td> <td>2000年製・・・1本</td> </tr> <tr> <td>2003年製・・・1台</td> <td>2001年製・・・47本</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2002年製・・・9本</td> </tr> </tbody> </table>		【空気呼吸器本体】	【高圧空気容器】	1998年製・・・8台	1992年製・・・8本	2000年製・・・9台	1998年製・・・12本	2001年製・・・23台	1999年製・・・1本	2002年製・・・6台	2000年製・・・1本	2003年製・・・1台	2001年製・・・47本		2002年製・・・9本
【空気呼吸器本体】	【高圧空気容器】														
1998年製・・・8台	1992年製・・・8本														
2000年製・・・9台	1998年製・・・12本														
2001年製・・・23台	1999年製・・・1本														
2002年製・・・6台	2000年製・・・1本														
2003年製・・・1台	2001年製・・・47本														
	2002年製・・・9本														
(2 前年度から変更・見直した点)															
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)															
平成14年3月8日付国鉄技第157号「鉄道に関する技術上の基準を定める省令等の解釈基準」別冊1「鉄道に関する技術上の基準を定める省令の解釈基準」															
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)														
<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無														

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
2 ブルーラインAEDリース	
(1 事業目的・内容)	
<p>お客様の安心・安全を目的に、ブルーラインのAEDをリースし、引き続き設置します。 設置駅:ブルーライン全駅</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款： 12 高速鉄道事業資本的支出 項： 01 建設改良費 目： 05 改良費	所属： 駅務管理所 担当者名： 磯貝・村川・関・伊藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
<p>3 ワイヤレスマイク更新</p> <p>(1 事業目的・内容) 旅客案内用にコンコース及びホームで使用するワイヤレスマイクの購入。 2021年3月をもってメーカーの保守が終了し、 修理不能になったタムラ製マイク(WTH-3210)のうちの一部を代替として新規購入します。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
<p>4 駅パーテーション設置</p> <p>(1 事業目的・内容) 女性職員用設備(仮眠室・トイレ)スペースのセキュリティ面が不十分であるため、 鍵付きパーテーションを設置します。</p> <p>令和5年度実施予定駅: 関内駅 (現在)</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="font-size: 2em;">➡</div> <div style="text-align: center;"> <p>(パーテーションイメージ)</p>  <p>機械式テンキー錠</p> </div> </div> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：清水・柏

(単位:千円)

	5年度 A	4年度 B	増△減(A-B)
予算額	5,819,449	9,142,806	△ 3,323,357

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
1 10000形機器更新	141,225

(1 事業目的・内容)

①劣化対策

10000形1次車は平成20年の竣工から10年以上が経過しており、各種搭載機器の劣化が進んでいます。近年電子部品の劣化による故障が頻発しているため、列車の安全運行のためには搭載機器の更新は必須となります。

②6両化準備対応

令和4年度からの10000形車両6両化において、増備する中間車両に搭載する機器の中には、現在車両に搭載されている機器と編成内で混在できない物があります。そのため、あらかじめ本事業で既存車の機器を、増備する予定の中間車と同一の物に更新しておく必要があります。

③バリアフリー対応

平成30年3月に、公共交通機関を利用する高齢者や障害者等の利便性、快適性に配慮する場合の施設、車両等の整備のあり方を示した”公共交通機関の車両等に関する移動等円滑化整備ガイドライン(バリアフリー整備ガイドライン)”が改訂されました。新しいガイドラインに沿ったバリアフリー対応によるお客様満足度向上を目的として、電気品及び内装品の改修を行います。

④インバウンド対応

インバウンド対応として、車内案内表示器の表示内容のうち駅ナンバーや他社線記号の追加、英語表記の見直し等を見直します。

⑤更新計画<6ヶ年契約>

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1次車 (VVVF,SIV,ATC/O,ブレーキ,ITV)	発注のみ	9編成	6編成			
1次車 (YTM,車内・車外案内表示装置)		2編成	4編成	3編成	2編成	4編成
2次車 ITV・主幹制御器			1編成	1編成		
予備品購入		一式				

⑥主な更新機器

・VVVF(主回路制御装置) ・ATO(自動列車運転装置) ・車内案内表示装置
 ・SIV(補助電源装置) ・ブレーキ電気品 ・車外案内表示装置
 ・ATC(自動列車制御装置) ・YTM(列車制御管理装置) ・ITV(対列車画像伝送装置)

(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

竣工から10年以上が経過し、各種搭載機器の劣化が進んでいます。近年電子部品の劣化による故障が頻発しているため更新が必要。6両化準備として、必要な機器の更新も含まれます。
公共交通機関の車両等に関する移動等円滑化整備ガイドライン

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総額
事業費	205,708	141,225	216,122			563,055
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：清水・柏

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
2 グリーンライン6両化 中間増備車の製造	1,606,210

(1 事業目的・内容)

- ◇グリーンライン現状 : 沿線の人口定着が進んでいることなどから乗車人員が年々増加し、混雑率も増加
令和元年11月:最大163%、日吉本町～日吉間の混雑が激しい
令和2年11月:最大109%
令和3年11月:最大127%
- ◇実施内容 : 現在4両編成のグリーンライン10000形車両17編成のうち10編成を6両編成にします。
- ◇今後の見通し : 新型コロナウイルス感染症の影響により計画当初より乗車率は低下しているが、将来的な乗車人員の回復に備えるとともに、沿線の街づくりの観点からも引き続き事業を継続する。

年度	H30	H31・R元	R2	R3	R4	R5	R6	合計
車両増備	基本設計	発注	車両設計	車両製造	3編成 6両化	3編成 6両化	4編成 6両化	10編成 6両化

(2 前年度から変更・見直した点)

なし。(昨年度、設計変更を反映)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

平成12年8月1日 運輸政策審議会答申第19号 Ⅲ 今後の鉄道整備の支援方策のあり方
・大都市圏における都市鉄道のすべての区間のそれぞれの混雑率を150%以内とする。ただし、東京圏については、当面、主要区間の平均混雑率を全体として150%以内とするとともに、すべての区間のそれぞれの混雑率を180%以内とすることをめざす

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費	2,078,364	1,606,210	2,180,723			5,865,297
債務負担設定						6,974,000

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：清水・柏

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
3 ブルーライン4000形車両の導入	2,980,295

(1 事業目的・内容)

- ・3000A形車両は平成4年度に製造しました。(全8編成)
 - ・H28年度末で、製造から約24年が経過し、車体や主要電気品が劣化傾向にあります。
 - ・車体については、屋根部のスポット溶接の亀裂や車内床面の内部素材の経年劣化など大規模な改修が必要です。
 - ・電気品は、経年劣化による故障件数が増加してきており、車両故障による営業線の運休など、車両運行に影響を及ぼしています。
 - ・電気品は随時改修することで故障抑制を行ってきましたが、抜本的な対策が必要な時期となっています。
- 3000A形車両を代替する新造車両を製造します。**

年度		H28	H29	H30	H31・R1	R2	R3	R4	R5
3000V形 1次車製造	施工予定	1編成							
4000形 製造	施工予定	電気品 発注		車体発注	設計・製造		1編成	4編成	3編成※
3000A形 廃車	廃車予定							4編成	4編成

※ 車両運用本数を確保するため、追加で1編成を製造します

	従前	V形1次車 投入	事故後 (R元. 9)	ダイヤ改正 (R2. 1)	将来	
総編成数	37編成	38編成	36編成	36編成	36編成	
内 訳	A形	8	8	8	8	→ 0
	V形1次車	-	1	1	1	Δ8 1
	他形式	29	29	27	27	27
	4000形	-	-	-	-	7 1
運用本数	34	34	34	33	32	
入場予備	1	1	1	1	1	
予備車	2	2	1	2	3	

→ A形代替

→ 事故車代替

(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・ブルーライン車両改良投資計画(平成20年度～平成40年度)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有 固定資産番号:1992-20-00401~00448
 無

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総額
事業費	6,314,855	2,980,295				10,938,844
債務負担設定						9,810,896

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：清水・柏

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
4 3000NRS形画像転送装置ミリ波受信装置更新	45,221

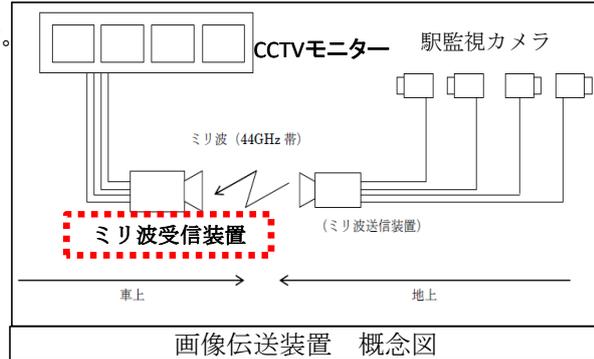
(1 事業目的・内容)

画像伝送装置は、運転士の扉開閉操作に際して、乗降客の安全を確保するため、ホーム画像を乗務員室に設置されたCCTVモニターに表示するシステムです。乗務員の扉開閉操作時における安全確認のために常に安定した性能・動作を求められる重要なシステムです。画像伝送装置を導入してから約10年が経過し、電子機器部品の劣化が進行する時期となったため改修するものです。

※ミリ波受信装置の製造メーカーの推奨交換周期(10年)

【更新計画】

令和2～5年度の4か年で装置の更新を行います。



<4か年契約の3年目>

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
数 量	1編成	6編成+予備品	10編成	10編成	28編成

(更新対象車両:3000NRS形車両27編成+予備品1編成(令和3年度納品))

(2 前年度から変更・見直した点)
なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
車両安全確保のため
現場の意見

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費	45,221	45,221				90,442
債務負担設定						132,486

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：清水・柏

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
5 3000N形車両電気品更新	970,000

(1) 事業目的・内容

3000N形は、1998年に7編成(42両)が製造され、現在6編成(1編成は踊り場駅構内衝突事故により廃車)が運用されています。当該車両は2023年で製造から25年経過するため、当初、車両の新造又は大規模改修をR7年度から計画していましたが、当局の経営状況等を踏まえ、主要電機機器の更新を主体とした更新に方針変更しR4年度から実施するものです。

①工程

年度		R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026
3000N形	当初計画					新造 (3編成)	新造 (3編成)
	更新		契約	更新 (3編成)	更新 (3編成)		

②更新範囲 (予定)

- ・ATC(自動列車制御装置) ・ATO(自動列車運転装置)
- ・VVVF(主回路制御装置) ・SIV(補助電源装置) ・ブレーキ電気品 ・空調装置
- ・IR(列車無線装置) ・列車モニタ ・案内表示装置 ・放送設備
- ・その他

(2) 前年度から変更・見直した点

なし

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・車両安全確保のため
- ・車両老朽化や電機品の製造終了に対応するため
- ・更新とすることで至近の費用支出を抑制するため

(4) 除却資産の有無)

 有
 無

(5) 補助対象の有無)

 有
 無

(6) 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費		970,000	1,142,000			2,112,000
債務負担設定	2,112,000					2,112,000

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：清水・柏

(単位：千円)

【事業内容】	5年度予算額
6 上永谷修繕工場超音波探傷装置更新	0

(1 事業目的・内容)

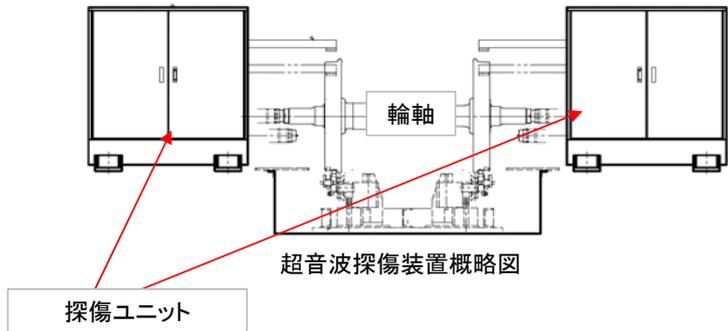
超音波探傷装置は、3000形車両の輪軸に傷等が発生していないかを確認する装置です。ブルーライン車両の全重検にて使用しています。
本事業は、老朽化した超音波探傷装置を更新するものです。

当該装置は、製造から約17年経過し、各部の劣化により不具合が毎年発生しており、都度の修理対応を行っています。特に制御部はOSが古いため、このPCに不具合が発生した場合、代替部品が入手できないため、修理対応ができず、また、当該設備の製造業者は事業を撤退しており、今後の修理等の継続的な保守ができません。

故障・修理中は使用できないため、軸に亀裂がないかどうか等の確認ができず、検査(全重)が停止し、運用を確保することができません。また新重要部保全検査を申請するためには軸の垂直探傷、局部探傷をすることが条件のひとつであり、横浜市交で使用している軸の専用プログラムを施した超音波探傷装置が必要です。

上記の理由から、超音波探傷装置の更新を行います。

- ・2005年度設置
- ・全重検委託業務貸与設備



(2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

故障発生により、適正な検査を実施することができない場合、車両を検査から出場させることができず、運用確保ができません。施工時の検査停止期間縮小のため、輪軸洗浄装置との同時更新を行います。

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：清水・柏

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
7 上永谷修繕工場輪軸洗浄装置更新	

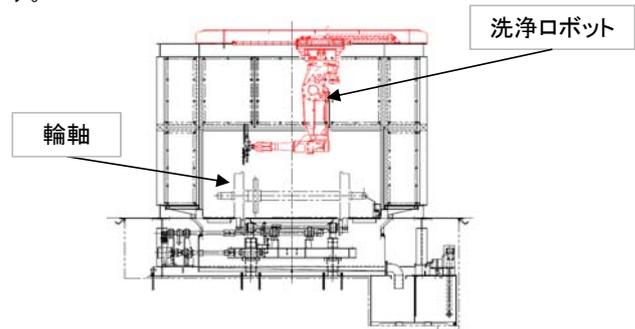
(1 事業目的・内容)

輪軸洗浄装置は全重検等で、輪軸の超音波探傷を行う前に輪軸の洗浄を行う装置です。
本事業は経年劣化した輪軸洗浄装置を部分更新するものです。

当該装置は製造から約17年が経過しており各部の劣化により不具合が発生。都度の修理対応を行っています。
装置のメインとなる洗浄ロボット本体及び制御部がともに生産を終了しており、故障発生時に修繕等が実施できません。そのため、生産終了品の現行品への置き換え及び経年劣化が発生している各種センサ類や可動部の部品交換を行います。

本装置は超音波探傷装置と連動した装置であり、どちらかが停止場合、ともに使用できなくなるため、同時の施工を計画します。
コスト削減のため、装置の全面更新ではなく、利用できる部分の再利用をできるだけ行った部分更新を行います。
主に、可動部・センサ類、メインとなる洗浄ロボットを新品へ更新します。

- ・2005年度設置
- ・全重検委託業務貸与設備



輪軸洗浄装置本体概略図

(2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

洗浄後、超音波探傷を行うため、事前作業に必須の装置です。
施工時の検査停止期間縮小のため、超音波探傷装置との同時更新。

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：清水・柏

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
8 上永谷修繕工場台車洗浄装置	0

(1 事業目的・内容)

台車洗浄装置は、車両点検時に取外した台車枠等を洗浄するものであり、次工程へ移行する前処理に使用しています。設置から約28年経過し、劣化によるエア漏れや圧力計等の動作不良、モータポンプの破損等の不具合が多く発生しています。台車洗浄装置が故障して使用できない場合、台車枠等を洗浄できず次工程に進めないため、車両検査が中断となることから装置の更新が必要です。設置は1994年(H6)から28年経過。

(2 前年度から変更・見直した点)

新規

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・車両整備維持のため
- ・車両安全維持のため
- ・車両環境維持のため

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：清水・柏

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
--------	--------

9 上永谷修繕工場粉塵廃棄処理装置

(1 事業目的・内容)

粉塵廃棄処理装置は、主電動機及びコンプレッサーの点検整備で気吹清掃した際に出たゴミや粉塵を排気ファンとフィルターで集塵し、除塵した空気を屋外に排気するものです。現在劣化が進行し、装置本体の腐食や装置内フィルターの自動機能破損等が発生しており、部分的な更新が必要です。設置は2005年(H17)から17年経過、途中ケーシング部分補強実施。

更新単位は以下。

- ・排気チャンパーケーシング
- ・ケーシング内 排気ファン、ロールフィルタ

(2 前年度から変更・見直した点)
新規

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

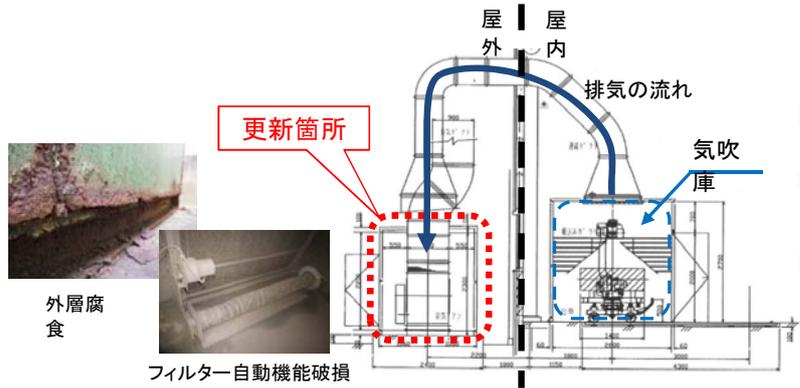
- ・環境維持のため
- ・車両整備維持のため

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無



(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：清水・柏

(単位：千円)

【事業内容】	5年度予算額
10 上永谷車両基地脱線復旧機材	
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>車両等が脱線した際に、脱線復旧のために使用するリライバ及び車両特殊部品を購入します。 リライバ：脱線した車輪をレール上に戻すためのガイド。訓練時、損傷したため。 特殊部品：3000S形用台車緊締用のフック付き軸箱フタ。訓練時、損傷したため。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div> <p>●リライバ 脱線した車輪付近のレールにセットし、自走もしくは牽引により、脱線車両を移動させることで、車輪をレール上に復旧させます。 脱線復旧に使用するガイドレール。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div> <p>●特殊部品 3000S形台車の緊締に使用する部品です。 フックがかけられるような構造となっており、台車の軸箱にセットし、脱線復旧中に台車が動かないように固定するために使用します。</p> </div> </div> <p>(2 前年度から変更・見直した点) 新規</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等) 脱線時の復旧対応に必要な装置です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;"> <p>(4 除却資産の有無)</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>(5 補助対象の有無)</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> </div> </div>	

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：清水・柏

(単位：千円)

【 事業内容 】	5年度予算額
11 上永谷車両基地車体洗浄装置	0

(1 事業目的・内容)

車体洗浄機は、列車が通過しながら車体外面を自動で洗浄する装置です。定期的に年次点検を実施しており部品交換も実施していますが、容易に交換できない部位は劣化や摩耗が発生しており修繕が必要です。設置は1993年(H5)から29年経過。

更新単位は以下。

- ・ブラシ回転モーター、回転ブラシ、エアチューブ、給水ポンプ(配管含む)、洗浄ポンプ
- ・シーケンサー



(2 前年度から変更・見直した点)
新規

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・車両美観維持のため
- ・装置全体で劣化が進行しているため

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：清水・柏

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
12 上永谷検車区列車無線装置試験機	0

(1 事業目的・内容)

列車無線試験機は、重要部・全般保全検査等で列車無線機の試験で使用しています。現在、上永谷・新羽検車区に各1台ありますが、試験機の故障や年次点検でメーカーへ持ち出すことがあり、この期間は故障対応の初動が遅れ運用に支障をきたす恐れがあります。このため、列車無線試験機1組を購入し試験体制の強化を図ります。
 なお、現行品の内部部品廃盤等により、同一品の生産不可のため、新規設計による製作となります。既設品が完全故障となった場合も代替品が容易に入手できないため、新規製作の着手が必要です。

(2 前年度から変更・見直した点)
新規



(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
 ・車両性能維持のため
 ・車両安全維持のため

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：清水・柏

(単位：千円)

【事業内容】	5年度予算額
13 上永谷検車区ATC/O試験機	
<p>(1 事業目的・内容) ブルーライン車両のATC・O装置の健全性確認に使用する試験装置です。 試験機はOSが古く、PC故障時に機器の動作確認がおこなえないため、現行OSを使用した試験装置を購入します。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等) ・車両性能維持のため ・車両安全維持のため</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課(技術) 担当者名：清水・柏

(単位：千円)

【事業内容】	5年度予算額
16 車両調達に係る仕様等調査	0

(1 事業目的・内容)

鉄道事業者が行う一部の調達については国際調達の対象外とされてきましたが、2020年2月以降EUをはじめとする海外事業者の競争入札参加が可能になりました。これまで車両調達は国内の製造メーカーに限り入札を実施してきており、海外事業者の参入の可能性が生じたことに伴い、今後の車両・部品調達のため、国際調達への対応を検討する必要があります。本事業は車両・部品調達で使用してきた日本産業規格(JIS)をはじめ、車両仕様に係る内容精査と見直しを行うことで、国際調達となった場合においても入札及び契約後の車両・部品調達事業を円滑に進めるために実施するものです。

工程

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9
	計画	契約	成果物 納入			
	→					

(2 前年度から変更・見直した点)

新規

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

EPA及びWTO政府調達協定
国際調達手続き対応のため
車両仕様及び技術規格の見直しと精査のため

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位：千円)

	5年度 A	4年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	2,970,247	5,404,967	△ 2,434,720

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
1 高圧配電線更新工事	

(1 事業目的・内容)

【工事の目的】

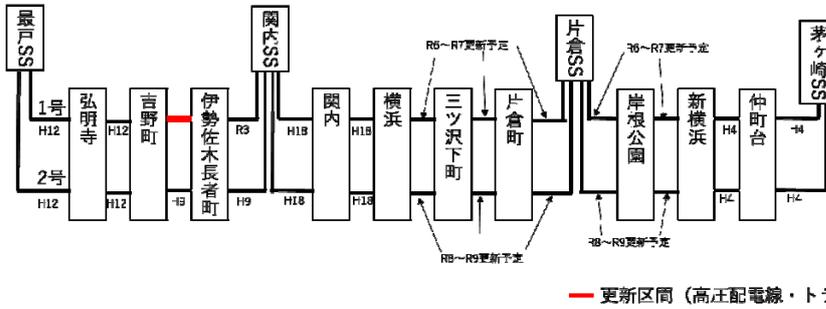
高圧配電線(ケーブル)は、当局の付帯変電所から、各駅の電気室へ電気を供給するための電力ケーブルです。
更新計画中の区間は、高圧配電線を格納しているコンクリートトラフが、塩害により激しく腐食し、ケーブルが露出している部位があります。また、敷設・運用より25年が経過していることから、高圧配電線の信頼性が低下しつつあると考えられます。
そのため安定した電力供給の維持を目的に、高圧配電線およびコンクリートトラフの更新を実施します。

【課題】

工事の大半は夜間の軌道内を占有する工事のため、関係箇所との調整を密にし工事を行う必要があります。また高圧配電線の切替時には、電気を供給している駅に影響を与えないよう慎重に切替を実施し、安全に工事を進捗させ、完成させます。

★高圧配電線更新計画

区 間	巨長	設置	経過年数	R4	R5	R6	R7	R8	R9
舞岡S/S～戸塚E/R(下り)	1400	1987	35	●					
吉野町E/R～伊勢佐木長者町E/R(上り)	1400	1997	25		●				
横浜E/R～新横浜S/S(上り)	7500	1984	38			●			
横浜E/R～新横浜S/S(下り)	7500	1984	38				●		
舞岡S/S～上永谷E/R	4400	1984	38					●	



更新予定区間のトラフ

コンクリートトラフの一部が破損している

(4 除却資産の有無)

■ 有 1997-20-00253
□ 無

(5 補助対象の有無)

□ 有
■ 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事 業 費	42,568					
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
2 弘明寺駅電気室更新工事	0

(1 事業目的・内容)

電気室更新のための機器更新工事を実施します。

弘明寺駅電気室は、昭和47年の開業以来、49年稼働しており、補修部品の入手やオーバーホール等の修繕が困難な状況です（更新の目安：約30年）。万一、電気室の機能に故障が発生した場合、駅の電力供給が行えない以外にも、信号保安装置等、列車の運行に必要な装置への電力供給が行えなくなり、運行支障が発生してしまい、その結果、多くのお客様にご迷惑をおかけすることにもなります。

また、電気室で使用している変圧器についてはPCB含有の機器のためPCB特措法に基づく処分期限（令和8年度末）までに機器の更新を実施し、既設変圧器を処分する必要があります。
このことから弘明寺駅電気室について、機器更新工事を実施いたします。

★委託発注計画

対象電気室	設置年	経過年数	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
弘明寺駅	1972	49	●-----●	●-----●	●-----●	●-----●	●-----●

- 基本設計 ●-----●
- 実施設計 ●-----●
- 工事 ●-----●



弘明寺駅電気室のPCB含有変圧器

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

PCB含有の機器のためPCB特措法に基づく処分期限(令和8年度末)までに機器の更新を実施し、既設変圧器を処分する必要あり

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

- 有 1988-20-00013
- 無 1989-20-00054
- 2000-20-00048
- 1972-20-00024

- 有
- 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
3 片倉変電所機器更新工事	815,041

(1 事業目的・内容)

片倉変電所は昭和60年度の開業以来、使用開始から30年以上が経過し機器の劣化が進行し、製造中止となった部品も多く、健全な機能を維持することが困難となりました。全面的な機器の更新を行い、設備の信頼性の向上を図ります。更新に伴い、機器配置等が変更となるため非常用発電設備、換気設備、照明設備や電線路設備、電力管理システム改修等の改修も併せて実施します。

【事業計画】

件 名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	契約・機器製作	機器製作・工事	工事	工事	
片倉変電所機器更新工事 (東京電力工事含む)					
片倉変電所電線路改修工事					
片倉変電所電力管理システム変更					



66kV 特別高圧受電設備



直流き電設備

(2 前年度から変更・見直した点)

出来高変更に伴う金額の修正
契約金額、設計金額に変更
負担金の支払い年度を令和4年度から5年度に変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

1984-20-00371、1984-20-00441、1997-20-00128
 有 1997-20-00261、1998-20-00062～00065
 無 2003-20-00202、2003-20-00223～00226
 2005-20-00455～000462、2005-20-00477
 2006-20-00068、2007-20-00455、2009-20-00285

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費	815,041	815,041				
債務負担設定	250,000					250,000

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位：千円)

【事業内容】	5年度予算額
4 笹下変電所機器更新工事	250,000

(1 事業目的・内容)

笹下変電所は1977年製であり、製造から45年が経過し機器の劣化が進行しています。製造中止となった部品も多く、健全な機能を維持することが困難となりました。全面的な機器の更新を行い、設備の信頼性の向上を図ります。更新に伴い、機器配置等が変更となるため換気設備、照明設備や電線路設備、電力管理システム改修等の改修も併せて実施します。

【課題】

・整流器用遮断器が1台故障中であり、修理不可のため片系運用している。

【検討事項】

更新工事に当たっては、方法を検討することで、費用の削減を図ります。



主配盤設備

【事業計画】

件名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	実施設計		契約・機器製作	機器製作・工事	工事
笹下変電所機器更新					
笹下変電所電線路改修工事					
笹下変電所電力管理システム変更					

(2 前年度から変更・見直した点)

発注年度を令和3年度から令和4年度に変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有 1977-20-00043、1977-20-00072、1992-20-00047
 無 1993-20-00148、1999-20-00042、1999-20-00068
 1999-20-00265、2001-20-00260、2001-20-00421
 2009-20-00287、2009-20-00288、2009-20-00289
 2009-20-00304、2009-20-00327、2009-20-00343
 2009-20-00365、2014-20-00090、2018-20-00321
 1995-20-00161、1999-20-00011

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総額
事業費		250,000	640,000			890,000
債務負担設定	890,000					890,000

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
5 茅ヶ崎変電所更新工事(基本・実施設計)	22,000

(1 事業目的・内容)

茅ヶ崎変電所の機器を更新するための基本設計及び実施設計を委託します。
茅ヶ崎変電所に設置されている変電機器は更新時期を迎えており、更新にあたっては変電機器、建物電気設備(照明)、防災設備、機械設備の仕様の見直しを検討する必要があるため、基本計画について、基本・実施設計を委託します。



66kV 特別高圧受電設備



主配盤設備

【事業計画】

件 名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			基本設計・実施設計	
茅ヶ崎変電所機器更新工事		●—————●		●—————

(2 前年度から変更・見直した点)
契約金額に変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費	30,000	22,000				52,000
債務負担設定	55,000					55,000

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
6 グリーンライン電力管理システム部分更新	0

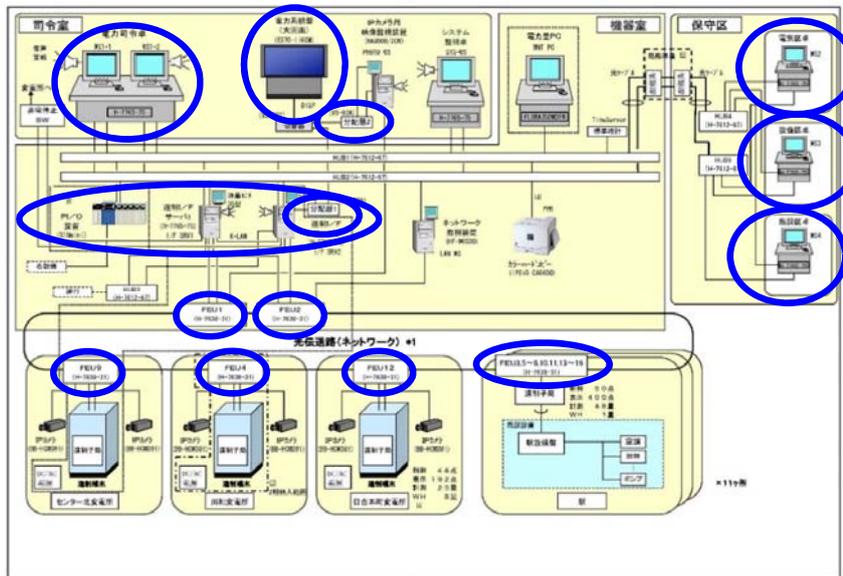
(1 事業目的・内容)

電力管理システムは変電所の機器状態、故障情報、電力量データ等を収集し、それぞれの状態表示や機器の操作をすることができます。また、各変電所には上記を行う為、遠方監視制御装置が設置されています。

グリーンライン電力管理システムは開業から14年がたっており機器の更新推奨時期になっています。そのため電力管理システムを継続して使用するために生産終了され機器交換、部品交換のできない機器の更新委託を行います。

あわせて緊急時に効率的に対応ができるように市庁舎に監視端末を移設します。

更新対象機器一覧



(2 前年度から変更・見直した点)
新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総額
事業費			300,000			300,000
債務負担設定	300,000					300,000

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目 款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	担当 所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻
---	---------------------------------

(単位：千円)

【事業内容】	5年度予算額
--------	--------

7 直流電源装置更新

(1 事業目的・内容)

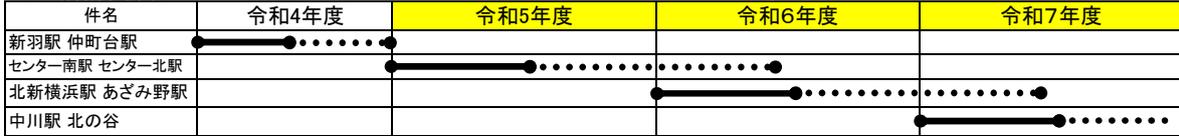
直流電源装置は停電時に駅の非常灯を点灯させたり、電気室及び変電所の開閉器の動作や故障検出を行う継電器への電源を供給しています。

令和5年度はセンター南、センター北の直流電源装置の機器更新を行い、機器の健全性の維持・確保を行います。更新計画は直流電源装置の設置から30年経過した装置に対して、鉛蓄電池の寿命を考慮して計画しています。

<更新計画>

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
場所	新羽駅 仲町台駅	センター南駅 センター北駅	北新横浜駅 あざみ野駅	中川駅 北の谷
製造年・更新時 経過年数	1992年・30年経過	1992年・30年経過	1992年・30年経過	1992年・30年経過
蓄電池交換実施年・ 蓄電池経過年数	新羽 2016年・6年経過 仲町台 2016年・6年経過	センター南 2015年・8年経過 センター北 2019年・4年経過	北新横浜 2016年・8年経過 あざみ野 2019年・5年経過	中川 2015年・10年経過 北の谷 2016年・9年経過
内容	蓄電池交換及び 整流器更新	蓄電池交換及び 整流器更新	蓄電池交換及び 整流器更新	蓄電池交換及び 整流器更新

<年度計画表>



(2 前年度から変更・見直した点)

半導体不足により、単年度から複数年工事に変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無



【参考】直流電源装置

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総額
事業費	42,000					
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
-------------	--------

8 上永谷車両基地き電監視盤ほか更新(実施設計)

(1 事業目的・内容)

上永谷車両基地の検車庫用直流開閉器盤、現地操作盤及びき電監視盤の更新計画の設計を行います。
上永谷車両基地検車庫用直流開閉器盤(以下、C盤)及び現地操作盤(以下G盤)は、昭和52年に設置されました。現在、42年経過しており、劣化が進行しています。また修理に必要な補修部品等も既に生産が中止されており、故障等の不具合が発生した場合に修理対応に多くの時間を要してしまう状況です。
また、直流開閉器の状態を監視しているき電監視制御盤についても本体及び制御線の経年劣化が進んでいるため、C盤及びG盤更新を含めて更新ステップを設計します。

【主な不具合】

●経年劣化による本体の発錆や腐食 ●可動部の動作不具合 ●スイッチの接触不良 ●配線の絶縁抵抗の低下

【C盤】

上永谷車両基地には、車両を点検するための点検線があります。点検線内には、点検中の列車に直流750Vを送るための「栓受」と呼ばれる設備があります。

C盤は、「栓受」の直流750Vを開閉するための直流開閉器盤で、電磁接触器1台で構成されています。

【G盤】

G盤は、C盤に収納されている電磁接触器を遠方の点検線で開閉操作するための現地操作スイッチ盤です。

【MC盤】

C盤の上位に存在し、サードレールを開閉するための直流開閉器で、高速度遮断器で構成されています。

【き電監視制御盤】

MC盤の状態を監視し、基地構内の直流750Vの入切状態を監視しています。

【事業計画】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
基本設計	●————●					
実施設計			●————●			
更新工事					●————●	●————●

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)



現地操作盤



直流開閉器盤

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
--------	--------

9 駅照明更新工事

(1 事業目的・内容)

駅照明の消費電力を削減しCO2の排出を抑止することを目的に、直管型110W蛍光灯や水銀灯のLED化を駅の改修や老朽化対策等に合わせ、周囲の機器への影響及び安全性に配慮しながら調査や導入を実施しています。
令和12年度までに接客部の照明のLED化率100%を目指し、駅に設置されている蛍光灯のLED化を進めます。
(現状のLED化率 BL:66% GL:16% 全体:54%)

【更新計画】

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業計画	舞岡 下永谷 伊勢佐木長者町 踊場 弘明寺 GL各駅水銀灯	蒔田 港南中央 戸塚	センター北 立場 中田 下飯田 湘南台
更新対象	蛍光灯・水銀灯	蛍光灯	蛍光灯
更新灯数(灯)	756	782	1,035
電力削減量 (kWh/年)	78,586	81,289	107,588
CO2削減量 (t/年)	35.1	36.3	48.1



※R5年度実施予定のうち蛍光灯更新駅のみ記載(水銀灯は交換数量が少ないため)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有 公営企業債(脱炭素化事業)対象事業
- 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
-------------	--------

10 基地照明更新工事

(1 事業目的・内容)

上永谷車両基地構内にあるコンクリート柱上及び川和車両基地構内の水銀灯を、LED投光器に更新を行います。

車両基地構内は、夜間の職員の視界確保と防犯のために水銀灯をコンクリート柱上に取り付け、構内を明るく照らしています。上永谷車両基地のコンクリート柱上の照明器具は、設置から30年以上経過しています。また、コンクリート柱の上に取り付けられているため、管球の交換をしにくいという欠点があります。

また、平成29年8月16日より発効された水銀に関する水俣条約により、令和2年12月31日以降一般用高圧水銀ランプの製造、輸出入が禁止となります。

それに伴い、経年劣化している上永谷車両基地構内だけでなく、川和車両基地構内の水銀ランプも併せて交換する計画をします。

上永谷車両基地はコンクリート柱の上に、水銀灯の管球を交換するための足場がありますが、金物の経年劣化が進んでいるため交換時に転落事故等の危険があります。そのため、本工事で撤去し代わりに照明器具用のブラケットを取り付けます。

【交換対象】・・・上永谷車両基地： 1000W水銀灯 15台 400W水銀灯 18台
かご撤去 14基

川和車両基地： 400W水銀灯 49台

	上永谷基地				川和基地			
	消費電力	灯数	合計	1日(12時間)の電力量	消費電力	灯数	合計	1日(12時間)の電力量
水銀灯	1000W	15	15kW	266.4kWh	1000W	0	0	235.2kWh
	400W	18	7.2kW		400W	49	19.6kW	
LED	410W (1000W相当)	15	6.2kW	96kWh	410W (1000W相当)	0	0	58.8kWh
	100W (400W相当)	18	1.8kW		100W (400W相当)	49	4.9kW	
削減量	電力量			170.4kWh	電力量			176.4kWh
	CO2量(年間)			28t-CO2	CO2量(年間)			29t-CO2



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有 公営企業債(脱炭素化事業)対象事業
 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
--------	--------

11 防災設備更新工事

(1 事業目的・内容)

自動火災報知設備の更新を行います。
自動火災報知設備は、設置から30年以上が経過し、修理に必要な部品の入手が困難となっており、一旦故障が発生してしまうと修理対応に時間を要する懸念があります。そのため受信機を更新し、安全性の維持に努めます。
令和5年度は設置から31年経過している北新横浜、新羽、仲町台駅の受信機を更新します。

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
対象駅	—	新羽基地 (経年30)	北新横浜 (経年31)	あざみ野 (経年31)	中田 (経年24)
	—	—	新羽 (経年31)	—	下飯田 (経年24)
	—	—	仲町台 (経年31)	—	—



火災受信機

●自動火災報知設備について

居室等に設置されている感知器が熱や煙を感知し、受信機に火災信号などを送り知らせます。また受信機は警報を発し、火災地区を表示し地区ベルなどを鳴動させ建物内に居る人に火災の発生を知らせる設備です。設備は、受信機・発信機・中継器・表示灯・地区音響装置・感知器などの機器から構成されます。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

●根拠条例(設置基準)

消防法第17条、消防法施行令第21条、その他、横浜市火災予防条例第51条等、防火対象物の用途・規模に応じて設置し、点検・維持を行う義務がある。

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
12 区分開閉器更新工事	

(1 事業目的・内容)

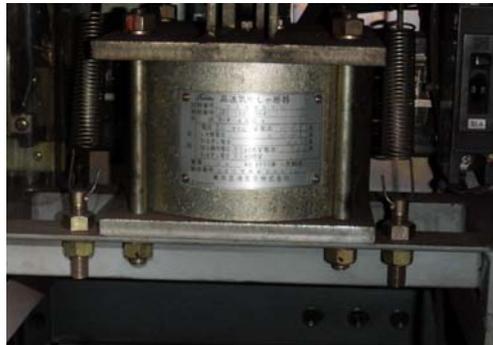
区分開閉器は、電力回路を安全に開閉する設備です。
 上大岡駅に設置している直流区分開閉器は、製造から47年が経過しております。
 本設備は列車走行用の電力開閉器であり、電気事故等発生時に回路を遮断するほか、平日の営業運転終了後にいち早く不要な区間の電力供給を停止する部分き電停止に用いるため、保守作業や工事を効率良く行うために欠かせない設備です。

既設設備には以下の課題があるため、更新を行います。

- ・老朽化により機器の故障リスクがある
- ・機器故障時には部分き電停止が行えず、保守作業や工事の作業可能時間が短くなってしまふ



開閉器盤外観



遮断器外観

【事業計画】

	設置年	経過年数	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度以
上大岡駅	1975年	47	●	●	●			
弘明寺駅	1972年	50			●	●	●	
阪東橋駅	1972年	50					●	●

(2 前年度から変更・見直した点)
 新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費	50,000					
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
13 隧道照明更新工事	0

(1 事業目的・内容)

湘南台駅から戸塚駅間のずい道内の照明器具をLED照明器具に更新します。

ブルーライン及びグリーンラインのずい道(トンネル)内の照明器具は、鉄道に関する技術上の基準を定める省令の避難設備として設置しています。非常時の際は、速やかに点灯するものとし、設計・運用されている照明器具です。
また、トンネル内は保守職員が点検のために昼夜歩行するため、これらの照明器具を常時点灯(24時間365日)として運用しています。

【LED化による効果】

消費電力の削減量(予定):年間197,319kWh

CO2削減量(予定):年間88t

蛍光灯交換にかかる保守点検(年間約90日:全線):LED化により大幅減が見込める

【今後の計画】

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業計画	0灯(工事発注のみ)	901灯	596灯	698灯
	—	湘南台～戸塚	戸塚～弘明寺	弘明寺～片倉町
進捗率(予定)	0%	16.5%	27.5%	40.3%



ブルーラインは令和9年度に、グリーンラインは令和10年度にLED化が完了する予定です。

隧道照明のLED化は横浜市交通局初の取り組みの為、誘導無線への影響や運転手からの見え方の調査も合わせて検証し、新百合ヶ丘延伸の設計仕様に反映させます。

ずい道照明(イメージ)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令

第二十九条(地下駅等の整備)

2 地下駅等には、施設の状況に応じ、必要な消火設備、避難設備その他の火災対策設備を設けなければならない。

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有 公営企業債(脱炭素化事業)対象事業
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
14 上永谷駅電気室更新工事(基本設計)	

(1 事業目的・内容)

電気室更新のための基本設計について、設計を委託します。

上永谷駅電気室は、昭和50年の竣工以来、47年稼働しており、補修部品の入手やオーバーホール等の修繕が困難な状況です(更新の目安:約30年)。万一、電気室の機能に故障が発生した場合、駅の電力供給が行えないばかりか、信号保安装置等、列車の運行に必要な装置への電力供給が行えなくなり、運行支障が発生してしまい、その結果、多くのお客様にご迷惑をおかけすることにもなります。このことから上永谷駅電気室について、機器更新のための基本設計を委託します。

★委託発注計画

対象電気室	設置年	経過年数	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
上永谷駅	1975	47	●	●	●	●

- 基本設計 ●●●●●●
- 実施設計 ●●●●●●
- 工事 ●●●●●●



変圧器



開放型負荷盤

(印加部が露出している為、保守作業時に感電の恐れがある)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)



(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
15 横浜駅電気室更新工事	0

(1 事業目的・内容)

ブルーラインの電気室は駅の大規模改修に合わせて設備更新を実施してきましたが、設備の老朽化により機器の更新が必要とされる電気室のうち、駅の大規模改修の予定がなく竣工から40年以上が経過した電気室について、機器更新を進めていきます。

横浜駅電気室は、開業以来、47年稼働しており、補修部品の入手やオーバーホール等の修繕が困難な状況です（更新の目安：約30年）。万一、電気室の機能に故障が発生した場合、駅の電力供給が行えないばかりか、信号保安装置等、列車の運行に必要な装置への電力供給が行えなくなり、運行支障が発生してしまい、その結果、多くのお客様にご迷惑をおかけすることにもなります。

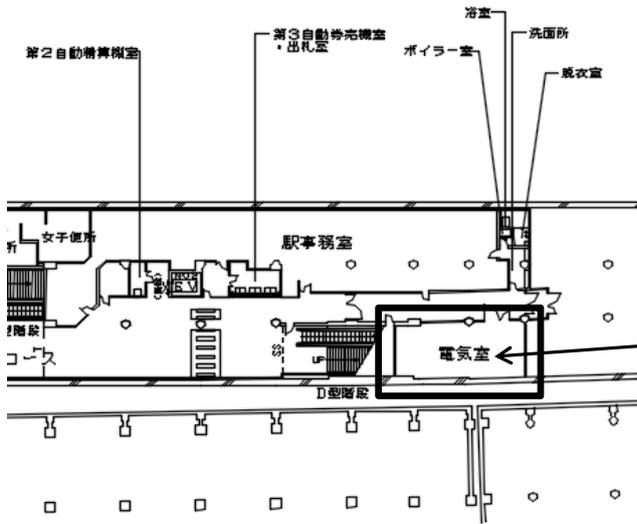
更新にあたっては、安全に配慮し、高効率機器を導入し、省エネルギー化にも取り組むこととします。

- 基本設計 ●——●
- 実施設計 ●——●
- 工事 ●●●●●

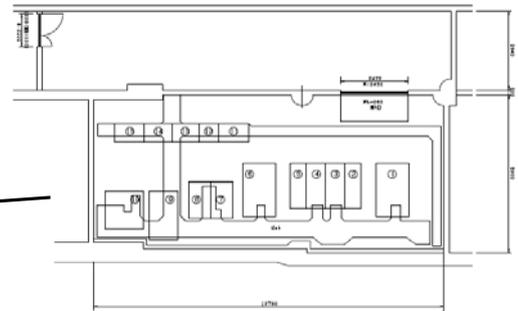
★委託発注計画

対象電気室	設置年	経過年数	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
横浜駅	1975	47	●——●	●——●			●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●

横浜駅B2F



横浜駅電気室



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

- 有
- 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
16 新横浜変電所直流開閉器部分更新	0

(1 事業目的・内容)

新横浜変電所は昭和58年の開業以来、使用開始から30年以上が経過し機器の劣化が進行しています。令和2年度に真空遮断器の更新を実施しましたが、直流き電設備である直流遮断器も老朽化が進んでおり更新が必要な状態となっています。直流遮断器が故障すると電車に電気を供給するために電気の投入、解放ができず営業線に多大な影響を与えるため更新を実施します。

【事業計画】

計画内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
	契約・機器製作	工事	工事	工事	
当初計画(変電所一式更新)					10億前後規模
今回の計画(部分更新延命)					部分更新により 7年~8年の延命

【延命化の目的】

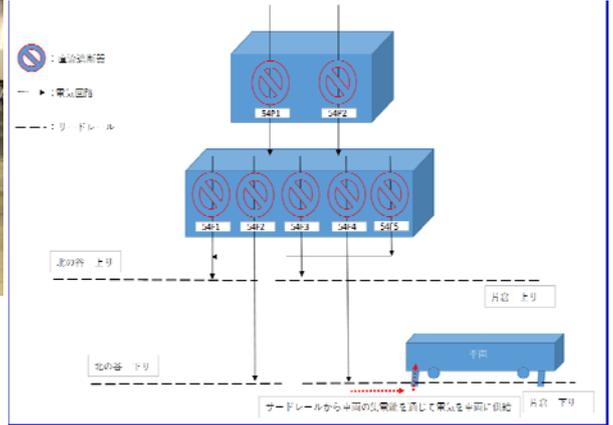
- ・真空遮断器が更新済みのため、直流遮断器のみの更新で7年~8年の延命ができます。
- ・直流遮断器はき電線路に電気を送るために必要な設備で故障すると、き電線路に電気を送ることができなくなり、車両に電気が供給されなくなります。確実な運行のために更新が必要です。



直流き電盤



直流遮断器



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
17 舞岡変電所機器更新工事	0

(1 事業目的・内容)

舞岡変電所は1986年製であり、製造から36年が経過し機器の劣化が進行しています。製造中止となった部品も多く、健全な機能を維持することが困難となりました。全面的な機器の更新を行い、設備の信頼性の向上を図ります。更新に伴い、機器配置等が変更となるため換気設備、照明設備や電線路設備、電力管理システム改修等の改修も併せて実施します。

【課題】

電力会社からの受電を担う受電変電所であり、機器故障時の影響範囲が大きい

【検討事項】

- 適切な工期設定を行い、費用の平準化を図ります。
- 直流電源設備など一部設備は既設流用とし、費用を削減しています。



主配電盤

【事業計画】

件 名	令和2・3	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	実施設計		発注	機器製作	工事	工事	竣工
舞岡変電所機器更新							
舞岡変電所電線路改修工事							
舞岡変電所電力管理システム変更							
電力会社工事							

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 1986-20-00129 2005-20-00439 2005-20-00444 2007-20-00595
- 有 1986-20-00130 2005-20-00440 2005-20-00445 2010-20-00121
- 無 1996-20-00202 2005-20-00441 2005-20-00446 2011-20-00475
- 1999-20-01564 2005-20-00442 2005-20-00472 2016-20-00063
- 2001-20-00262 2005-20-00443 2005-20-00476 2017-20-00055

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

2017-20-00056
2017-20-00427

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位:千円)

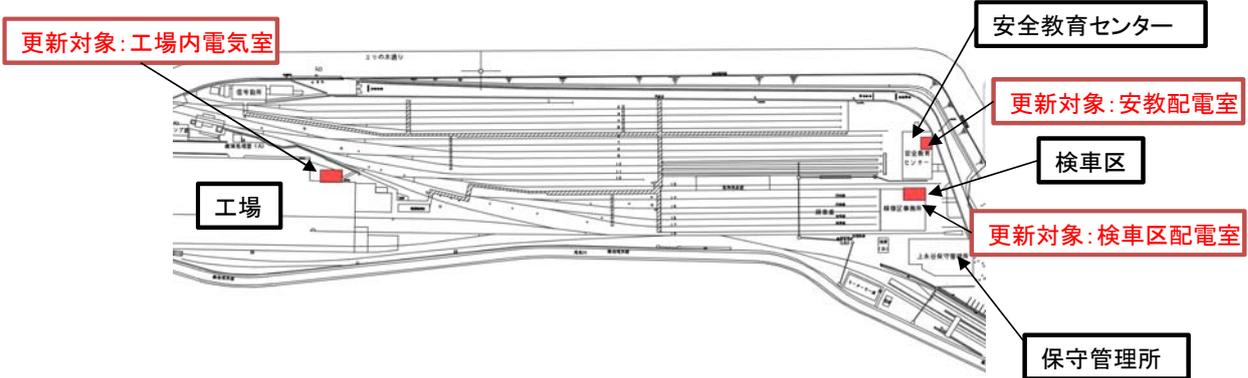
【 事 業 内 容 】	5年度予算額
-------------	--------

19 上永谷基地電気室更新工事(基本・実施設計)

(1 事業目的・内容)

電気室更新のための設計を委託します。

上永谷基地電気室は、1976年製であり、46年稼働しています。老朽化が進行しており、補修部品の入手やオーバーホール等の修繕が困難な状況です(更新の目安:約30年)。万一、電気室の機能に故障が発生した場合、基地の電力供給が行えなくなり、信号保安装置等、列車の運行に必要な装置が停止する恐れがあります。基地機能が停止してしまうと、本線の列車運行も困難となります。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
20 上永谷基地帰線自動開閉器更新工事	0

(1 事業目的・内容)

上永谷基地の帰線自動開閉器は帰線電流の迷走防止・基地内走行レールの電位上昇防止等を目的に設置されています。本設備には低濃度PCBが使用されており、令和8年度末までの処分が義務付けられています。機器製作期間が長期化しており、処分期限に向けて早めの更新を行います。

【機器仕様】

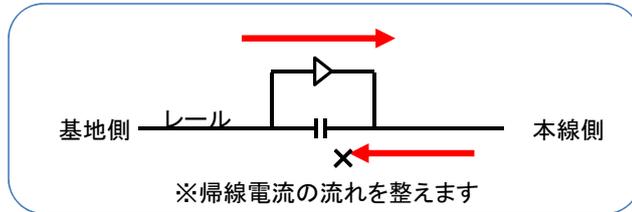
- ・ 定格：750V/600A 油量：90L 1989年製
4台

【事業計画】

令和5年度	令和6年度	令和7年度
契約・機器製作	機器製作・工事	機器製作・工事



帰線自動開閉器



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法
(令和9年3月31日までの処分を義務付け)

(4 除却資産の有無)

- 有 1988-20-00049
- 無 1989-20-00086

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
21 信号設備ユニット類更新作業(横浜)	0

(1 事業目的・内容)

①電子連動装置

信号保安設備の一つである電子連動装置は、進路の構成や転つ機の鎖錠など、停車場において列車の安全運行を確保するための装置です。

今回更新する横浜駅停車場の電子連動装置は、設置後約15年(2007年7月設置)が経過しており、電子連動装置の主要構成部品である各ユニットのコンデンサー、継電器その他の経年劣化部品(期待寿命10年)の更新を行うことで、信号保安設備の故障の未然防止および延命化を図ります。

②ATC装置

信号保安設備の一つであるATC装置は、列車の在線位置を検知して、先行列車に衝突しないよう各区間の許容速度を決定して列車に送信し、列車の安全運行を確保するための装置です。

今回更新する横浜停車場のATC装置は、設置後約15年(2007年7月)が経過しており、経年劣化部品(期待寿命10年)である各ユニット内のコンデンサー、ローターリースイッチ、電源コンバータ、継電器を更新することで、設備の機能維持および故障の未然防止を図ります。

③信号モニタ装置

信号設備の一つである信号モニタ装置は、ATC装置や連動装置など各信号設備の状態を監視して故障や異常を表示するとともに、各信号設備の動作を記録して動作の解析や障害発生時の調査をおこなうためのモニタ装置です。

今回更新する横浜停車場の信号モニタ装置は、設置後約15年(2007年7月)が経過しており、信号モニタ装置の主要構成部品であるファクトリーコンピュータはすでにメーカーのサポート期間も切れて交換部品が入手できず、修理ができない状態です。したがって、ファクトリーコンピュータや経年劣化部品(期待寿命10年)であるスイッチング電源や通信機器を更新することで、設備の機能維持および故障の未然防止を図ります。

R2年度 関内・伊勢佐木長者町信号機器室

R3年度 横浜信号機器室(2007年7月=約14年) **収益減少のため延期**

R4年度 横浜信号機器室(2007年7月=約15年)**収益減少のため延期**,上永谷信号機器室(2010年3月=約13年)

R5年度 横浜信号機器室(2007年7月=約16年),上永谷信号機器室(2010年3月=約14年)

R6年度 横浜信号機器室(2007年7月=約17年)、上永谷車両基地試運転線ATC装置(2010年3月=約15年)

横浜駅信号保安設備 整備状況

装置名	更新周期	2007	~	2019	2020	2021	2022	2023	~	2027	~	2035	2036
		平成19		令和1	令和2	令和3	令和4	令和5		令和9		令和17	令和18
ATC・連動・モニタ	2.5年	設置	~			OH延期	OH延期	OH予定	~		~	更新予定	更新予定
電源装置	2.5年	設置	~	BT済	OH済				~	BT予定	~	更新予定	更新予定

BT:蓄電池のみ交換 OH:ユニット類更新

(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
22 信号設備ユニット類更新作業(上永谷)	220,000

(1 事業目的・内容)

①電子連動装置

電子連動装置は、進路の構成や転つ機の鎖錠など、停車場において列車の安全運行を確保するための装置で、設置後約12年(2010年3月設置)が経過しています。

今回、電子連動装置の主要構成部品である各ユニットのコンデンサー、継電器その他の主要部品を更新します。

②ATC装置

ATC装置は、列車の在線位置を検知して、先行列車に衝突しないよう各区間の許容速度を決定して列車に送信し、列車の安全運行を確保するための装置で、設置後約12年(2010年3月)が経過しています。

今回、ATC装置の主要構成部品である各ユニット内のコンデンサー、ローターリースイッチ、電源コンバータ、継電器等を更新します。

③信号モニタ装置

信号モニタ装置は、ATC装置や連動装置など各信号設備の状態を監視して故障や異常を表示するとともに、各信号設備の動作を記録して、動作の解析や障害発生時の調査をおこなうための装置で、設置後約12年(2010年3月)が経過しています。

今回、信号モニタ装置の主要構成部品であるスイッチング電源や通信機器のほか、メーカーのサポート期間が切れて交換部品が入手できず、修理ができない状態となっているファクトリーコンピュータについても更新します。

④信号電源装置

信号電源装置は、連動装置、ATC装置、CTC装置、転つ装置、信号装置などに安定した電力を供給するための装置で、設置後約12年(2010年3月設置)が経過しています。

今回、電源装置の主要構成部品であるユニット類、コンデンサー、スイッチング回路等を更新します。

これらは全て、信号保安設備を構成している、列車の安全運行を確保するために必要な装置ですが、各装置内の主要構成部品が期待寿命年数(10年)を超えて経年劣化しているため、信号保安設備の故障の未然防止および延命化を図るために更新を行います。

R2(2020)年度 関内・伊勢佐木長者町信号機器室

R3(2021)年度 横浜信号機器室(2007年7月＝約14年) 収益減少のため延期

R4(2022)年度 上永谷信号機器室(2010年3月＝約12年)、横浜信号機器室(2007年7月＝約15年)収益減少のため延期

R5(2023)年度 上永谷信号機器室(2010年3月＝約13年)、横浜信号機器室(2007年7月＝約16年)

R6(2024)年度 横浜信号機器室(2007年7月＝約17年)、上永谷車両基地試運転線ATC装置(2010年3月＝約14年)

○上永谷駅停車場 内訳

項目	数量
電子連動装置部品類交換	一式
ATC装置部品類交換	一式
信号モニタ装置部品類交換	一式
信号電源装置部品類交換	一式
経費	一式

(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総額
事業費		220,000				220,000
債務負担設定	220,000					220,000

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
23 信号保安装置更新工事(新羽)	458,276

(1 事業目的・内容)

新羽駅の信号保安装置(ATC装置、連動装置)は、運用開始後約28年経過しています。

これまでに経年劣化対策として、ATC装置については設置後10年を基準にオーバーホールにより延命化を行い、さらに20年を基準に部分更新を行いました。また、連動装置についても設置後15年を基準に部分更新を行い、これらの取り組みにより重大事故や運行阻害に直結する故障の発生はなく、安全性を確保して来ました。

しかし、設置後30年を経過することから、下記の理由により全面更新が必要です。

- ・今後故障の増加が予測されること。
- ・装置を構成する主要部品がすでに製造中止となり、今後の修理対応が困難なこと。
- ・装置内の配線、コネクタ等にも劣化が進んでいること。

信号装置	使用開始	R3年度	R4年度	R5年度
新羽	H5年3月	設計・契約	工事	工事・撤去

(2 前年度から変更・見直した点)

○継続事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条第3項 運転保安設備の保持
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

- | | |
|--|-----------------------|
| <p>■ 有 新羽信号機器室(R5) 1992-20-00374～1992-20-00386</p> <p>□ 無 1992-20-00398、1992-20-00399</p> <p>1992-20-00806、1992-20-00811、1992-20-00812</p> <p>1992-20-00818、1992-20-00827</p> <p>1995-20-00438～1995-20-00447</p> | <p>□ 有</p> <p>■ 無</p> |
|--|-----------------------|

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費	1,833,104	458,276				2,291,380
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位：千円)

【事業内容】	5年度予算額
24 運行管理システム・列車集中制御装置改修作業(新羽)	
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>運行管理システムは、運輸司令業務の効率化と旅客案内サービスの向上をはかるために、電子計算機を使用して列車の運行制御、運行実績記録、在線状況表示、案内放送および案内表示の制御を自動的に行う装置です。列車集中制御装置は、総合司令所からの制御情報を各駅の信号装置に送信するとともに、各駅の信号装置の状態を表示情報として総合司令所に送信するシステムです。</p> <p>本作業は新羽駅の信号保安装置(ATC装置・連動装置)更新に伴い、更新後の装置を正常に動作させるために運行管理システムおよび列車集中制御装置の改修を行う必要があります。</p>	
<p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>○新規事業</p>	
<p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条第3項 運転保安設備の保持 横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得</p>	
<p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>	

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
25 BLホーム柵延命化のための部分更新	141,900

(1 事業目的・内容)

可動式ホーム柵は、プラットホームにおけるお客様の転落や列車との接触防止、また車両の戸挟みによる引きずり事故の防止のため、自動列車運転装置(ATO)を経由して車両と通信し、車両ドアと連動してドア開閉を行う装置です。

ブルーラインの可動式ホーム柵は、平成19年12月に設置開始してから13年が経過し、年に2回点検しながら使用していますが、近年ホーム柵内部の電源基板や制御基板、センサーなどの故障が発生しはじめています。製造メーカーの推奨では10年で一部の部品交換、20年で部分更新、30年で全面更新であることから、平成30年度より延命化のための部品交換を実施します。

部品交換においては、ホーム柵内部などの部品交換に時間がかかることから各機器内の基板類とセンサーの2回に交換作業を分け、さらに32駅を3年に分けて、6年計画で実施します。



	作業内容	作業駅数	備考
平成30年度	基板類交換	6駅	予備品の購入も含む
令和元年度	(電源・制御基板、総合制御盤、 駅務室監視盤、駅係員操作盤)	16駅	
令和2年度		10駅	
令和3年度	センサー類交換 (スイッチ、センサー)	4駅	
令和4年度		20駅	
令和5年度		8駅	水侵入カバー、着雪防止カバー含む

(2 前年度から変更・見直した点)

交換部品の見直しを実施

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
-------------	--------

26 GLホーム柵延命化のための部分更新

(1 事業目的・内容)

可動式ホーム柵は、プラットホームにおけるお客様の転落や列車との接触防止、また車両の戸挟みによる引きずり事故の防止のため、自動列車運転装置(ATO)を経由して車両と通信し、車両ドアと連動してドア開閉を行う装置です。グリーンラインの可動式ホーム柵は、平成20年3月に設置開始してから14年が経過しています。平成30年度から令和2年度にかけて、オーバーホールを実施し延命化を図っていますが、非常解錠ボタンおよび緊急停止ボタンについては、この作業の中では交換されていません。令和2年度には経年劣化した非常解錠ボタンが原因で障害が発生した実績があります。令和3年10月に他事業者で発生した車内傷害事件において、緊急事態発生時に可動式ホーム柵を軌道側から手動で開けることの重要性が改めて認識されており、非常解錠ボタンが確実に動作することが必要です。また、緊急停止ボタンについては、お客さまのホームからの転落や荷物等の投げ込みをはじめとして、列車を緊急に停止させる必要が生じた際に確実に動作することが必要です。これらの理由から、今回非常解錠ボタンおよび緊急停止ボタンの交換を実施します。



- ・非常解錠ボタン交換 48個×10駅=480個
- ・緊急停止ボタン交換 4個×10駅= 40個

(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

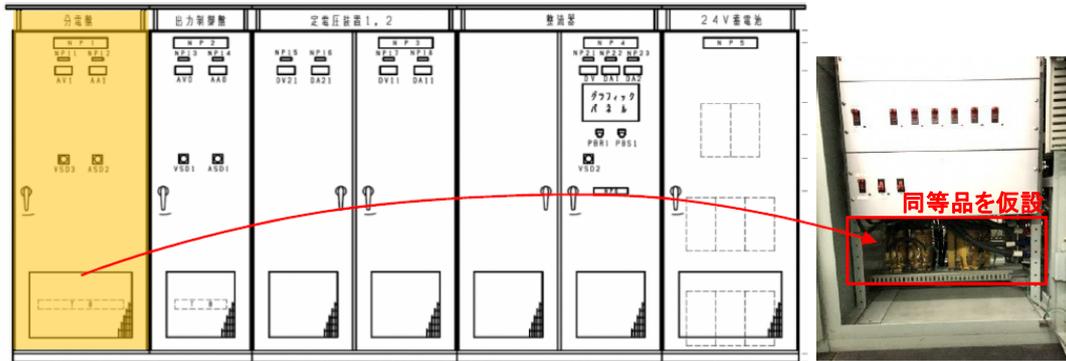
(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
--------	--------

27 電源装置延命化作業(センター北・あざみ野)

(1 事業目的・内容)

電源装置は信号保安装置(ATC装置、連動装置)に電源を供給するための装置です。
センター北駅およびあざみ野駅に設置されている電源装置は設置から約30年経過しているため、装置を構成している主要部品がすでに製造中止となっており、故障した際の復旧対応が困難になることが予想されるため、機器更新が望ましい状況となっています。
しかしながら、昨今の情勢を考慮し、最低限の延命措置として、故障しやすいと考えられる部品の代替品を電源装置内に仮設し、並列運転することで、信号保安装置へ継続して電源が供給できるようにするための作業を行います。



(2 前年度から変更・見直した点)

○新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
-------------	--------

28 BL緊急停止装置改修委託

(1 事業目的・内容)

緊急停止装置とは、駅のホームから旅客が転落した際などで列車を緊急に停止させなければならない事態が発生した場合に、ホームに設置された押しボタンを扱うことで駅に進入、進出する列車を緊急停止させる装置です。

お客様の安全確保のため非常に重要な装置ですが、すでに設置から20年が経過しており、経年劣化による動作不良が発生しています。点検周期を年2回に増やし、不良箇所の早期発見を行っているため、お客様の安全にかかわる事故は起きていませんが、不良の原因となっている装置内部の「水銀リレー」と呼ばれる部品は、本機器に搭載したリレーを製造した事業者は現存しておらず、水銀リレー自体も環境規制の強化により、令和2年12月31日をもって製造禁止となっています。

なお、水銀リレーは本体基板に組み込まれており、単体で交換することは出来ません。

また、製作時の設計思想により、ボタンを2～3秒間押し続けなければならない仕様となっており、お客様が慌てて操作をした場合(ボタンを押してすぐに離れた場合)十分に動作しません。(更新後のスイッチは、押した手ごたえのある押し込み式ボタンとする予定です)

以上の理由から、お客様のより確実な安全確保のためには、早期の改修が必要です。

部品交換は当初過去不具合の発生した4駅で実施し、その後は乗降人数の多い駅から順に4駅ずつ実施します。



図1:緊急停止装置(既設)



図2:緊急停止装置(改修後)

年度	作業内容
令和5年度 (22台)	上永谷8台、吉野町4台 横浜4台、片倉町6台
令和6年度 (18台)	湘南台6台、上大岡4台 新横浜4台、あざみ野4台
令和7年度 (18台)	関内6台、桜木町4台 センター南4台、センター北4台

以降、令和11年度まで順次実施

(2 前年度から変更・見直した点)

R3～R4年度は、新型コロナウイルスによる減収のため、事業を見送り

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
29 GL運行表示盤更新作業委託	0

(1 事業目的・内容)

運行管理システム(PTC装置)は、運輸司令業務の効率化と旅客案内サービスの向上をはかるために、電子計算機を使用して列車の運行制御、運行実績記録、在線状況表示、案内放送及び案内表示の制御を自動的に行う装置です。

PTC装置は設置後約15年(2007年9月)が経過し、2年に1度メーカーによる点検を行っていますが、司令所の運行表示盤に使用しているリアプロジェクション方式の大型モニターは、主要な消耗部品である光源用のランプが製造中止となっています。

ランプには寿命があるため、手持ちの在庫が枯渇すると、運行表示盤は使用できなくなります。

なお、現在の在庫数で使用できる年数は、2~3年程度です。

以上の理由から、運行表示盤をリアプロジェクション方式モニターから液晶ディスプレイに交換します。

また、運行表示盤には制御装置が付属しており、運行管理システム本体や各駅信号装置からの情報を集約し、大型モニターに表示する機能に加え、2面ある表示盤のうち1面が故障した場合には、1面に縮小表示して動作を継続する機能等を備えています。

運行表示盤制御装置についても、デジタルの映像出力に対応するためハードウェアを更新するほか、従来の4:3の画面比率から現在主流となっている16:9の画面比率に対応するためソフト改修を行います。

○内訳

項 目	数 量
運行表示盤更新	一 式



(2 前年度から変更・見直した点)

○新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

有 (2007-20-03377 の一部)
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
30 電子交換機更新委託(センター北)	0

(1 事業目的・内容)

鉄道電話(固定・PHS)は、ブルーライン、グリーンライン、車両基地、ずい道内の全箇所を設置されています。これらは、駅の業務、総合司令所からの指令業務、及び保守業務等に24時間使用されていて、お客様サービス、運行サービス、及び保守作業において必要不可欠な設備です。
この鉄道電話網を構成する機器の内、センター北駅に設置の電話交換機は今年度で導入後17年が経過(機器寿命が15年)し、PHS制御装置は今年度で導入後17年が経過(機器寿命が12年)しています。これらの設備は、機器寿命が過ぎていて、正常な動作が保証できない状況となっています。また、メーカー保守部品の製造が終了しており、故障が発生した場合は、長期間の動作停止となります。特にセンター北交換機が故障した場合、GL全ての鉄道電話・PHSが使用できなくなるため、予防保全を行います。

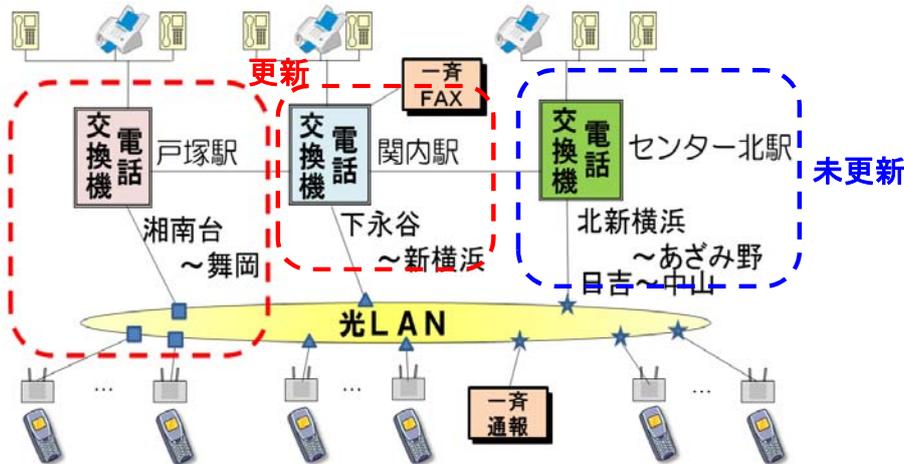
【内訳】

項目	数量	単位
交換機一式	1	式
工事作業	1	式
SE・現地調整費	1	式

【交換機比較】

交換機	鉄電収容駅数			鉄電回線数	PHSアンテナ数
	BL	GL	合計		
戸塚交換機	7駅	-	7駅	416	178
関内交換機	18駅	-	18駅	144	198
センター北交換機	7駅	8駅	15駅	270	325

*センター北、南はBLに計上



(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

信号通信設備整備心得
通信設備更新計画

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

- | | | | |
|-----|---------------|------------------|-----|
| ■ 有 | 1990-20-00108 | 自動電話交換機 | □ 有 |
| □ 無 | 1992-20-00926 | 自動電話交換機 | ■ 無 |
| | 2007-20-03606 | 通信機械(センター北交換機改造) | |
| | 2017-20-00455 | 交換機基盤 | |

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位：千円)

【 事業内容 】	5年度予算額
31 BL列車無線装置部分更新	

(1 事業目的・内容)

- ブルーライン列車無線装置
列車無線装置は、安全の確保と円滑な運行管理を保つために司令所一列車間で情報を伝達するための無線装置です。通話以外の主な機能として、
 - ・ 一斉停止(司令所から全列車を緊急停止させる)
 - ・ 非常通報(乗客が客室に設置されている非常通報装置から司令所を呼び出す)
 - ・ 一斉放送(司令所から各列車に一斉に放送する)
 - ・ 地震通報(地震発生時に各列車へ自動通報する)
 - ・ 防護発報(事故発生時等、運転士が近辺の列車を停止させる。ワンマン運転での必須機能)等があります。
- オーバーホールによる延命について
本装置は平成16～18年度、ワンマン運転に対応する(防護発報機能を追加)時に更新を行っています。
本装置は運用開始から今年度で15年が経過しているため、コンデンサ等の電気部品(通常10年程度)が確実に劣化しています。
本来であれば更新を検討しなければいけないところではありますが、現在の経営状況を踏まえ、オーバーホールによる有寿命部品(電源、リレー、コンデンサ等)を交換することにより5年程度の延命を図ります。



R4年度 設計
R5年度 改修作業

R6年度～R10年度 … 延命期間

年度	4年度	5年度	～ 9・10年度
内容	契約設計	改修試験	～ 全面更新を計画

(2 前年度から変更・見直した点)

新規

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 60条

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
32 BL音声録音装置更新	

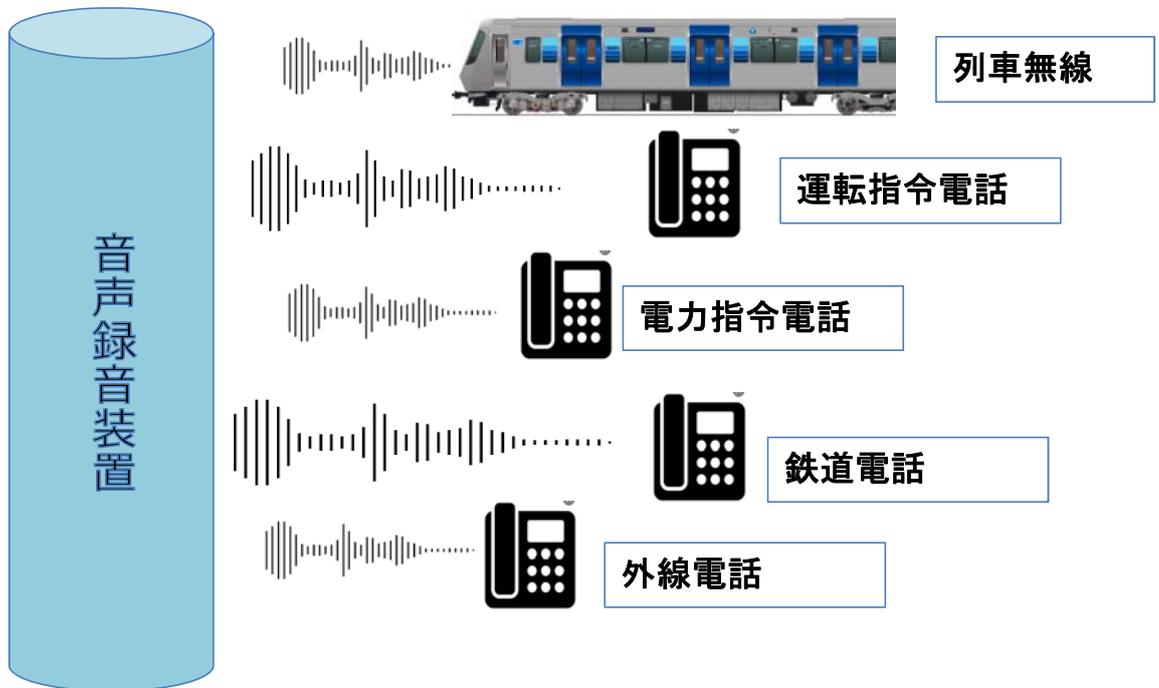
(1 事業目的・内容)

音声録音装置は「列車の運転状況を記録する装置」の一つとして省令に基づき設置しているもので、司令員と運転士による列車無線通話や保守員との通話等、基本的に指令員が通話した全ての内容を録音しています。録音した通話内容は事故等異常時の状況分析のために使用しています。

現在BLで使用している録音装置は導入後11年が経過し、通常の使用期間7年を大幅に超えていることから、故障時にメーカー修理が受けられない状態です。

今後故障が発生した場合の修理が不可能なことから装置の更新を行います。

なお、GLの音声録音装置は令和2年に更新済みです。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令(第86条の2)
信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

有 2012-20-00008
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位：千円)

【事業内容】	5年度予算額
33 放送装置更新(高島町・吉野町)	

(1 事業目的・内容)

【目的】

老朽化した放送設備では修理部品が製造中止となり、故障が発生した場合は長時間に渡り駅全体の放送が停止してしまいます。また、非常放送装置が停止すると、火災時等の警戒放送ができなくなり、乗降促進放送も鳴動しなくなり、消防法違反と列車運行支障となります。

よって、放送設備の機能を維持し、駅の放送業務と旅客案内サービスを維持します。

【目標】

機器の更新について、推奨更新周期が12年です。今後は故障頻度の多くなる15年～18年程度を目安に更新計画表をもとに更新を行います。

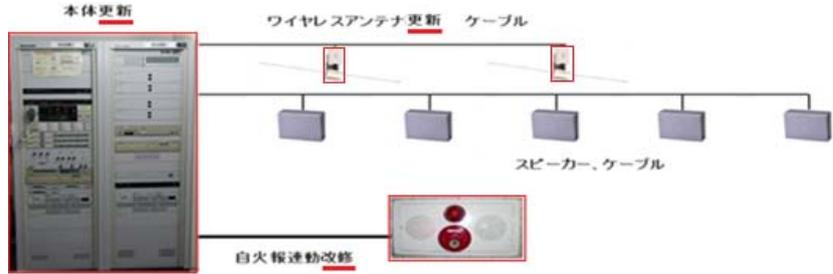
軽度な不具合等が出た場合は、部品の交換・修理等することで機器の延命措置をしてきましたが、設置後16年以上が経過している高島町・吉野町については、R5年度に更新を行います。

【課題】

現在の放送設備は現行消防法に対応済みのため最小限の設備の更新とし、スピーカーやスピーカーケーブルは既設を再使用してコスト縮減を図りつつ、計画的に放送装置の更新を進捗させます。

【機器構成】

非常放送機・本体	更新
スピーカー	対象外
ケーブル類	対象外
ワイヤレス機器	更新



【更新計画】

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
(高島町)	H16更新	戸塚 R04更新予定	高島町 H16更新	東山田 H19導入	センター南 H19更新	川和町 H19導入	横浜 H20更新
(吉野町)	H16更新	(中山) H19導入	吉野町 H16更新	高田 H19導入	北山田 H19導入	都筑ふれあいの丘 H19導入	
				中山 H19導入		センター北 H19更新	
				日吉本町 H19導入			
				日吉 H19導入			
事業費		22,000					

※()は見送りの駅

(2 前年度から変更・見直した点)

施工時期平準化を目的とした1年未満の工事における債務負担設定の適用

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

消防法および横浜市火災予防条例

(4 除却資産の有無)

■ 有	高島町	2002-20-00124	放送機
□ 無		2007-20-00204	拡声装置(放送装置)
	吉野町	2002-20-00108	放送機
		2007-20-00214	拡声装置(放送装置)

(5 補助対象の有無)

□ 有
■ 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総額
事業費	22,000					
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位：千円)

【事業内容】	5年度予算額
34 列車接近警報装置(遠隔監視装置)更新	

(1 事業目的・内容)

概要

列車接近警報装置とは営業中に保守作業員が軌道内に立ち入る際に端末を持ち運び、司令所中央装置から伝送された列車接近情報をもとに各駅基地局の送信局から端末に列車接近を警報し、安全に待避するための装置です。

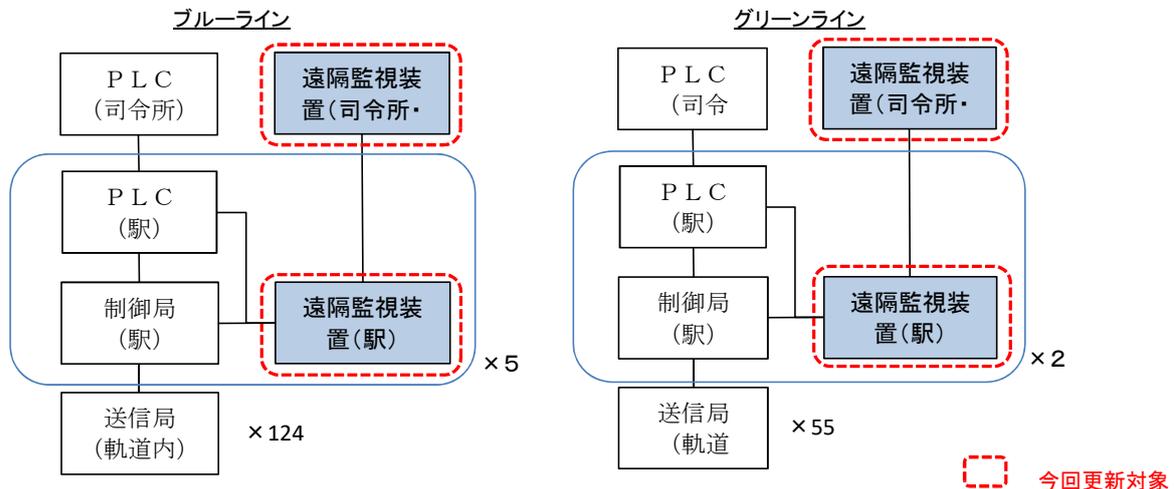
列車接近警報装置の動作や故障状況は遠隔監視装置で確認することができますが、設置から13年が経過しておりサーバーの修理や予備品の確保が困難だけでなく、現在修理困難な故障が発生しており、保守作業(メンテナンス)に支障が生じているため、装置の更新を行います。

更新計画

R4にPLCの予備品を購入(発注済)し、システムの延命化を図っています。

R5に予定していた制御局・送信局はメーカー修理対応が可能のため更新を延期し、主にサーバー・PCで構築される修理対応が不可能である遠隔監視装置の更新を行います。

PLC、制御局及び送信局の更新は、予備品の残り台数や、劣化状況を踏まえ検討してまいります。(現時点ではR7から更新と計画中)



(2 前年度から変更・見直した点)
更新計画の見直し

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位：千円)

【事業内容】	5年度予算額
35 ITVカメラネットワーク化工事(横浜駅ほか)	

(1 事業目的・内容)

【目的】

現在、GL全駅とBL主要駅のホーム映像は司令所から監視することができますが、今後はその対象を拡大し、司令所がいち早く駅の状態を把握し、乗務員や駅係員に的確な指示が出せるよう整備していきます。
また、お客様が駅構内で不審物や不審者を発見した場合や、トラブル発生時、急病人を見かけた際に、迅速に駅係員に連絡が出来るよう連絡手段を確保します。

【目標】

- ・BLの駅は非監視部が多く存在するため、ホームを含め監視範囲を増加させます。
- ・BLではアナログカメラとネットワークカメラが混在している駅があり、カメラの監視や保守業務が煩雑になっています。また、現在設置されているアナログカメラは老朽化がすすみ、故障が発生した場合はカメラが長期間停止する場合があります。

そこで、ネットワークカメラに更新・統合することにより、監視機能の強化及び効率化を図りつつ、高画質化します。

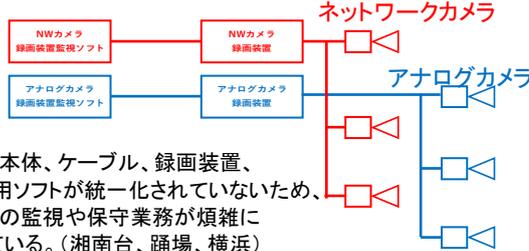
【課題】

現在設置されているアナログカメラは製造が終了している物もあり、故障が発生した場合は長期間監視できない場所が生じます。このため、ITVカメラのネットワークカメラ化を順次進めていきます。令和5年度は、更新計画に基づき、横浜駅、踊場駅、湘南台駅、三ツ沢上町駅、三ツ沢下町駅、高島町駅についてITVの更新とインターホンの設置を行います。
また、ネットワークカメラ化のために構築する駅構内のネットワークを利用し、IPインターホンを設置します。



駅の状態を、既設ネットワークを利用して司令所や駅事務室で監視

【現状】



【更新後】



R5・R6予定	R6・R7予定	R7・R8予定	R8・R9予定
三ツ沢上町	中川	仲町台	関内
三ツ沢下町	センター北	新羽	上永谷
横浜	センター南	北新横浜	下永谷
高島町	伊勢佐木長者町	岸根公園	舞岡
踊場	吉野町	片倉町	中田
湘南台	蒔田	港南中央	下飯田
	弘明寺		

(2 前年度から変更・見直した点)

施工時期平準化を目的とした1年未満の工事における債務負担設定の適用

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
36 光LAN用無停電電源装置更新	

(1 事業目的・内容)

光LAN装置は、列車無線、指令電話、自動案内放送などの音声データや、設備指令、ATOなどのデータを伝送する基幹光伝送路を構成する装置です。装置本体を設置してから10年以上が経過し、前回の鉛蓄電池の更新からも5年が経過します。
無停電電源装置の機器寿命は10年であり、来年度は機器寿命を超えてしまうので、更新が必要です。
このため、更新計画に基づき、光LAN用無停電電源装置本体5台(センター北、高島町、蒔田、港南中央、舞岡)の購入・更新を行います。

光LAN用無停電電源装置 更新計画

単位：台

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
台 数	6	5	5	3	4

(2 前年度から変更・見直した点)

機器価格の高騰に伴う費用の増

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

所管電気区の要望
運転保安設備実施基準
信号通信設備整備心得
通信設備更新計画

(4 除却資産の有無)

- 有 センター北駅 2013-20-00775
- 無 高島町駅 2017-20-00438
- 蒔田駅 2013-20-00776
- 港南中央駅 2013-20-00777
- 舞岡駅 2013-20-00778

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事 業 費	8,035					
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位：千円)

【 事業 内 容 】 5年度予算額

37 保守用無線更新

(1 事業目的・内容)

保守用無線局は、保守上の業務連絡に用いるほか、大規模災害発生時などの緊急連絡手段として、総司令所や各保守管理所に通信所を置くほか、保守管理所の緊急自動車への車載局や携帯局などが配備されています。

しかし、

- 保守用の携帯無線機も13年経っている。
 - 現在の機種は製造中止及び修理中止。
 - バッテリーの消耗が激しい。(バッテリーの交換は不可のため、新規購入しかない)
- 以上のことから、無線局の更新を計画的に進めていきます。



写真例：携帯局無線機

新携帯局無線機の仕様

- バッテリー容量が1.25倍になり、運用可能時間が延伸。
- デジタル・アナログ兼用なため、将来的にデジタル化に対応可能。
- 耐塵、防水構造。

標準構成

- ・無線機本体、キャリングケース、蓄電池パック、充電器、ベルトクリップ、外部スピーカーマイク (免許申請等含む)

●課題

- ・各保守管理所に配置している携帯局を古い物から順次更新していく。

保守用無線電話装置更新 (予定)

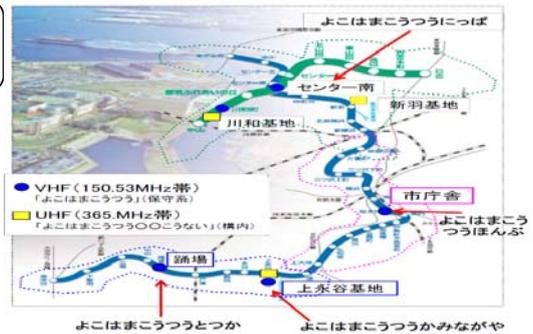
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
更新内容	・新羽構内 10局 (乗管、信号扱所)	・上永谷構内17局 (乗管、信号扱所) ・横浜交通新羽3局	・上永谷構内10局 (乗管、信号扱所)	横浜交通本部 基地局	横浜交通上永谷 基地局
合計	10 局	20 局	10 局	1 局	1 局

●現況数量

- ・基地局 4局 【市庁舎25W、踊場10W、センター南10W、上永谷基地5W】

- ・移動局108局
 - (車載11局 (上永谷4局、新羽4局、川和3局) 【25W、10W】)
 - (携帯97局 (上永谷42局、新羽36局、川和16局、市庁舎3局) 【5W、1W】)

●保守無線系統図
(■構内無線系統図)



(2 前年度から変更・見直した点)

携帯局をすべて5Wとし、順次更新していく。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

電波法施行規則第2条
無線設備規則別表第3号

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費	1,650					
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：関口・成嶋・金井・辻

(単位：千円)

【事業内容】	5年度予算額
38 誘導通信線更新工事	

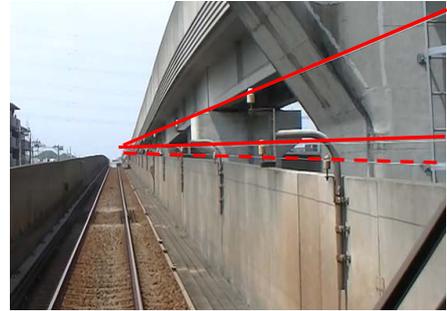
(1 事業目的・内容)

誘導通信線は、安全の確保と円滑な運行管理を保つために司令所～列車間で情報を伝達するための通信用ケーブルです。設置から25年経過したあざみ野線(新横浜～あざみ野)の誘導通信線のうち、地上部約12kmについては特に劣化が激しく、ケーブルの被覆が破れている状態です。このため、降雨時には絶縁抵抗が低下し、誘導雷による絶縁破壊や漏電により回線品質が劣化し、場合によっては司令所～列車間の通話ができません。列車無線が使用できないと列車を運行させることができないため、予防保全としてケーブルを更新します。
また、現在使用していない保安電話用のケーブルについても、順次撤去します。

誘導通信線 明かり区間12kmのうちR1年度は約3km、R2年度に約5kmを更新、R5年度に残りの約4kmを更新予定
保安電話用ケーブル 全33kmのうちR1年度は約3km、R2年度に約7kmを撤去、R5年度に約7kmを撤去予定

【内訳】

	数量
誘導線更新	4km
保安線撤去	7km
試験調整他	一式



— 誘導通信線
- - - 保安電話

【年次計画】

(単位：km)

年度	元	2	3	4	5	合計
誘導線更新	3	5	(4)	(4)	4	12
保安線撤去	3	7	(7)	(7)	7	17

※()は見送りした年度

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

鉄道に関する技術上の基準を定める省令 11条、60条、86条

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：望月、千葉、日比野

(単位:千円)

	5年度 A	4年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	2,150,617	2,334,553	△ 183,936

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
1 早期運行再開のための耐震補強	12,600

(1 事業目的・内容)

兵庫県南部地震以前に作られた構造物については、旧運輸省の通達により、耐震補強としてラーメン高架橋・橋りょうのRC柱、開削トンネルのRC中柱の補強及び橋りょうの落橋防止工を平成7～15年度に実施して完了しています。

平成25年度からは、首都圏で想定されている大規模地震が発生した際でも、列車が早期に運行再開するための耐震補強を実施しています。

- 実施区間 戸塚駅～あざみ野駅区間
- 補強対象構造物 ラーメン高架橋、橋りょう、開削トンネル
- 耐震補強の進め方 耐震補強の必要性を判断（耐震性能診断設計）【H25年度より実施】
↓
耐震補強工事の詳細設計【H25年度より実施】
↓
耐震補強工事の実施【H27年度より実施】

		H26年度	H27年度	H28年度～R4年度	R5年度	R6年度以降
耐震調査・設計委託						
耐震工事	ラーメン・橋脚(高架部)					
	トンネル・駅部(地下部)					



(2 前年度から変更・見直した点)

早期運行再開のための耐震補強については、経営状況及び補助金交付状況を考慮しながら引き続き事業を進めます。令和5年度は、継続工事を実施すると共に、令和6年度以降に補強する柱を対象に設計委託を発注します。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

特定鉄道等施設に係る耐震補強に関する省令

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有 地下高速鉄道整備事業費補助、防災・減災対策等強化事業推進費
- 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事 業 費	121,565	12,600				1,454,165
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：望月、千葉、日比野

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
2 宮元町シールドトンネル補修工事	582,484

(1 事業目的・内容)

吉野町～蒔田間の宮元町シールドトンネルは、開業後45年以上経過しており、経年劣化がみられるため列車運行の安全性維持を目的として、計画的に補修を行います。

※宮元町シールドトンネルの補修計画

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
調査・設計委託	上下線							
補修工事	上下線							



▲RCセグメントの劣化状況

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事 業 費	756,218	582,484	700,000	900,000		2,938,702
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：望月、千葉、日比野

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
3 宮元町シールドトンネル二次覆工補修工事	

(1 事業目的・内容)

宮元町シールドトンネル内にある二次覆工が劣化しており、コンクリート片が落下する恐れがあるため補修を行います。



赤くハッチングした箇所が二次覆工部分

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：望月・千葉・滝沢

(単位：千円)

【事業内容】	5年度予算額
4 鳩害対策工事	

(1 事業目的・内容)

お客様への鳩フン被害が発生しているため、橋梁構造物等に鳩害対策設備(ネット、スパイク)を設置します。



▲鳩フン被害状況



▲鳩害対策ネット対策



▲鳩害対策スパイク対策

令和5年度工事予定箇所

- ・新羽駅前歩道部
- ・北新横浜～新羽駅間
- ・上永谷車両基地出入庫線

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総額
事業費						18,050
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：望月、千葉、日比野

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
5 構造物コンクリート剥離箇所補修工事	

(1 事業目的・内容)

主に塩害区間において計画的に補修を行うため、構造物検査や日常点検の結果から選定した補修箇所について、補修方法を設計し、その後補修工事を行います。



▲劣化状況

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
設計委託			(5)R5委託		
補修工事		(1)R3構築補修工事			
		(2)R3構築補修工事(その2)			
		(3)R4構築補修工事			
			(4)R5構築補修工事		

※令和8年度以降も継続

(2 前年度から変更・見直した点)

債務負担設定は令和7年度までとします。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度予定	総 額
事業費	654,990					2,625,090
債務負担設定	474,000	521,400				995,400

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：望月・千葉・田中

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
6 トンネル坑口部浸水対策	

(1 事業目的・内容)

トンネル区間と高架区間の接続部にあるトンネル坑口の中で、北新横浜及び青砥町の坑口部は、洪水浸水想定区域内で計画規模降雨時に坑口からトンネル内への浸水の恐れがあることが確認されています。
坑口からの浸水について、令和5年度は調査・概略設計、6年度に実施設計、7年度に工事を実施します。



北新横浜坑口部



青砥町坑口部

	5年度	6年度	7年度
調査・概略設計			
実施設計			
浸水対策工事			

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有 地下高速鉄道整備事業費補助
 無 (調査・概略設計については無)

(6 年次表)

	3年度予算	4年度予算	5年度予定	6年度予定	7年度以降	総 額
事業費						112,000
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：望月、千葉、深堀

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
7 局所有の排水管補修工	

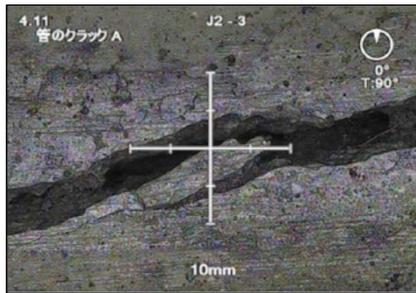
(1 事業目的・内容)

駅施設やポンプ室等から排出される汚水・排水は、地下から地上へポンプアップされたのち、歩道下や道路下に敷設された局所有排水管を通り、公共下水管へと流れていきます。

令和元年度に局所有排水管の破損が確認され緊急修繕を行ったことを期に、令和2年度に一部の局所有排水管の調査委託を実施したところ、「クラック」「管の継手ずれ」「腐食」など補修が必要な管が複数確認されました。そのため、令和4年度以降は計画的に調査委託と補修工事を実施していきます。

- 令和5年度補修工事予定箇所
道路下に敷設された局所有排水管（伊勢佐木長者町駅付近他5箇所）

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度以降
調査業務委託							
排水管補修工							継続



(2 前年度から変更・見直した点)

港南中央での発生事象を受け、早急に補修を行う方針となりました。範囲を上げた調査委託の結果を基に補修の優先順位を決め、また、予算の配分を考慮しながら計画的に対応していきます。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費						2,440,000
債務負担設定						2,378,000

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：望月、千葉、深堀

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
8 平沼町シールドトンネル補修工事	12,000

(1 事業目的・内容)

高島町～横浜間の平沼町シールドトンネルは、昭和51年の開業から長期間経過しており、塩害及び経年による劣化が見られるため、列車運行の安全性維持を目的として計画的に補修を行っています。下り線は先行して平成25年に調査・設計を行い、補修工事を平成27年度～30年度の期間で実施しました。今後は上り線に対応するため、劣化状況を調査し結果に基づき補修及び補強の設計を行います。

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
調査・設計委託							
補修工事							



▲ダクタイルセグメントの劣化状況



▲合成セグメントの劣化状況

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費						2,440,000
債務負担設定						2,378,000

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：内田、鍵和田

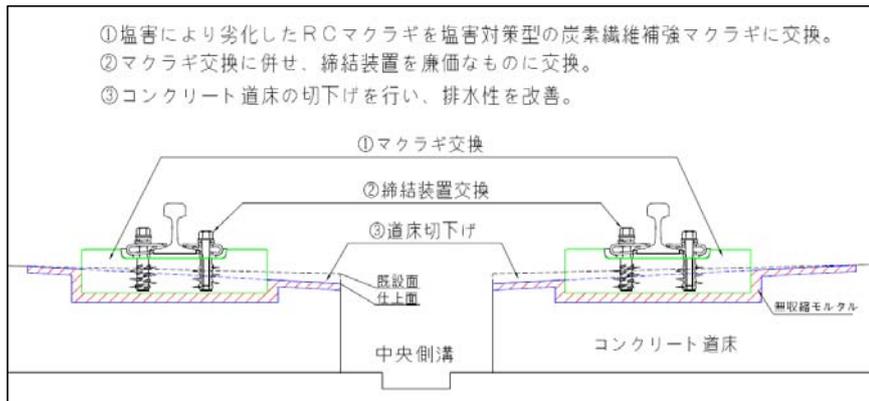
(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
9 横浜・三ツ沢下町間(上下)軌道改良工事	460,730

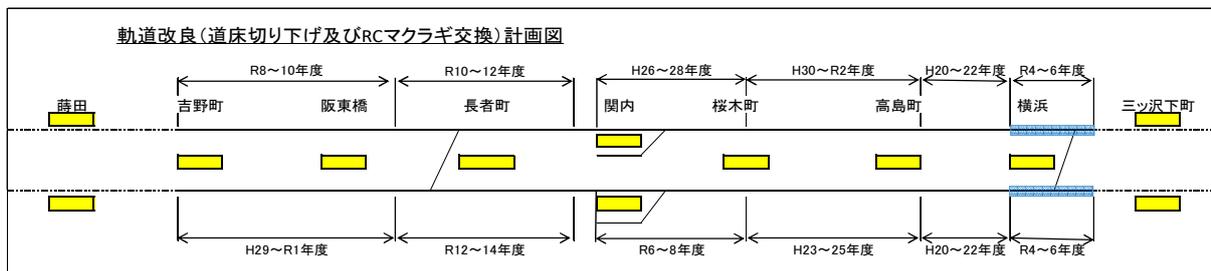
(1 事業目的・内容)

当該区間は海に近接しているため、漏水に含まれる塩分濃度が高く、塩害による鋼材の腐食により、レール、マクラギ、締結装置の損傷が著しく、列車走行の安全を確保することが困難な状況となっています。よって新しい軌道構造をもつ軌道への更新工事を行います。本工事は、令和4年度上半期より工事に着手し、令和6年度に完成予定となっています。

(概要) 軌道の防錆能力を向上させるため、マクラギ、締結装置を交換します。また、コンクリート道床の排水性を改善します。



(計画) 本軌道改良事業は、塩害区間(横浜～吉野町間)の中で損傷の著しいか所を優先的に行っています。



(2 前年度から変更・見直した点)

改良工事計画を見直しました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費	202,320	460,730	130,320			793,370
債務負担設定	591,050					591,050

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：内田、鍵和田

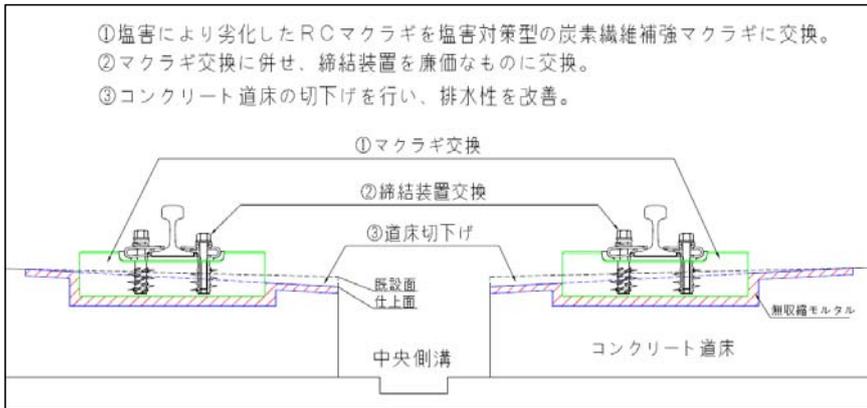
(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
10 関内・桜木町間(下り)軌道改良工事	893,200

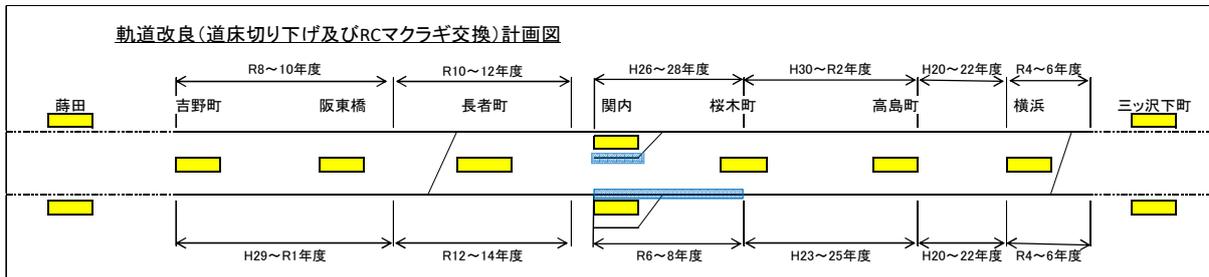
(1 事業目的・内容)

当該区間は海に近接しているため、漏水に含まれる塩分濃度が高く、塩害による鋼材の腐食により、レール、マクラギ、締結装置の損傷が著しく、列車走行の安全を確保することが困難な状況となっています。よって新しい軌道構造をもつ軌道への更新工事を行います。本工事は、令和6年度下半期より工事に着手し、令和8年度に完成予定となっています。令和5年度は材料を購入します。

(概要)軌道の防錆能力を向上させるため、マクラギ、締結装置を交換します。また、コンクリート道床の排水性を改善します。



(計画)本軌道改良事業は、塩害区間(横浜～吉野町間)の中で損傷の著しいか所を優先的に行っています。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費						893,200
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：内田、鍵和田

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
12 工事用車両購入及び更新	36,080

(1 事業目的・内容)

現在1・3号線では保守作業用の「A型モーターカー」を3台所有しておりますが、使用年数が31年を迎え、今後の故障に対応する部品等の手配が不可能になるため、モーターカーの購入を行います。

工事用車両購入計画

車番	使用年数	R3	R4	R5	R6	R7
A-6	31年			契約	→ 更新	
A-7	31年				→ 契約	→ 更新
A-8	31年	→ 契約		更新		



写真1: A-6モーターカー



写真2: 購入予定モーターカーの型

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費		36,080				
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：内田、岩崎

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
13 関内長者間急曲線軌道改良工事	

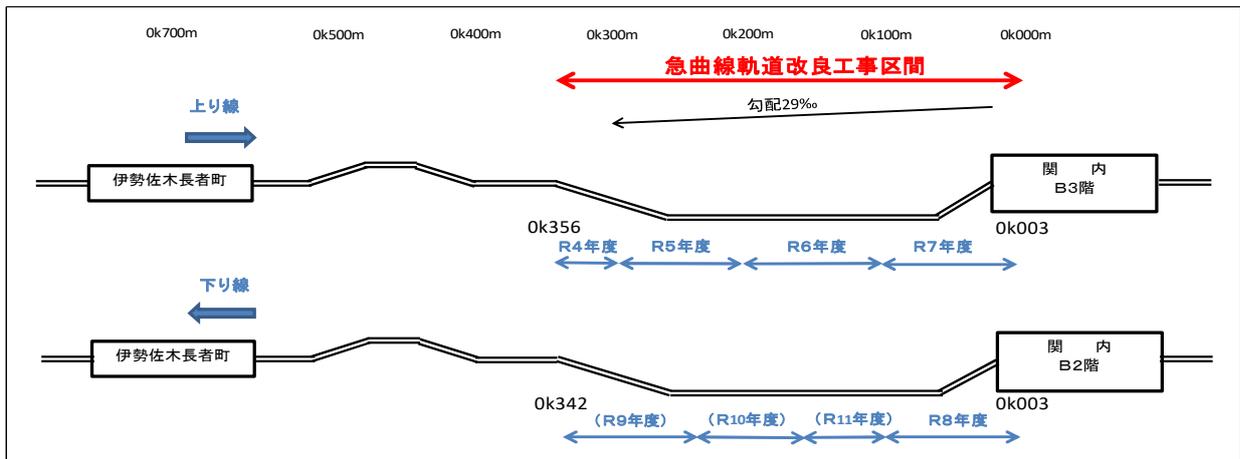
(1 事業目的・内容)

関内～伊勢佐木長者町駅間の曲線区間(R125)は急曲線であることや塩害部区間であることから、近年損傷が発生しており、保守作業に多くの労力を要しています。

安全性の向上及び保守作業の軽減を目的に、軌道部材の強化や防食等も含めた幅広い視点から実施した詳細設計をもとに検討した、軌道改良工事を実施します。



関内長者間急曲線軌道改良工事 計画表



事業費内訳

(千円)

	2年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度以降	総額
設計費	38,500	0					
材料費	0	11,068					
工事費	0	25,992					
合計	38,500	37,060					

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事 業 費	37,060					704,438
債務負担設定						99,931

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：内田、新妻

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
14 手押し式レール削正機	

(1 事業目的・内容)

現在当局ではレール削正車を所有しておらず委託によりレール削正を行っております。
委託によるレール削正では削正箇所が限定的でしたが、手押し式レール削正機を導入することにより、レールと車輪の接触により生じる部分的な波状摩耗やレール溶接部削正にも対応できるようになり、レール延命化やお客様CS(乗り心地改善、騒音・振動対策)にもつながるため購入します。



波状摩耗



手押し式レール削正機



削正機使用後

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：内田、新妻

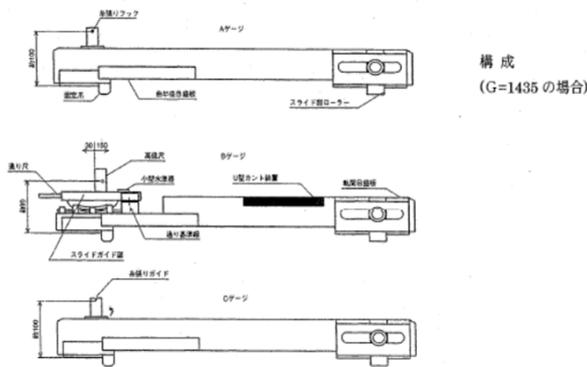
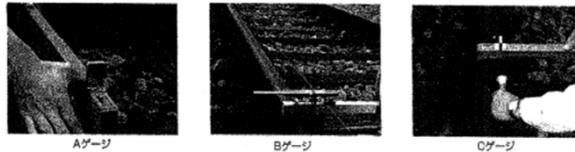
(単位：千円)

【事業内容】	5年度予算額
15 測定ゲージ	

(1 事業目的・内容)

測定ゲージは線路の検査や軌道整備後の線路の四項目(軌間・水準・通り・高低)を検査・測定する際に必要な測定機器です。

測定ゲージの更新は7年を基本としています。現在使用している測定ゲージは更新時期を迎えたので更新します。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

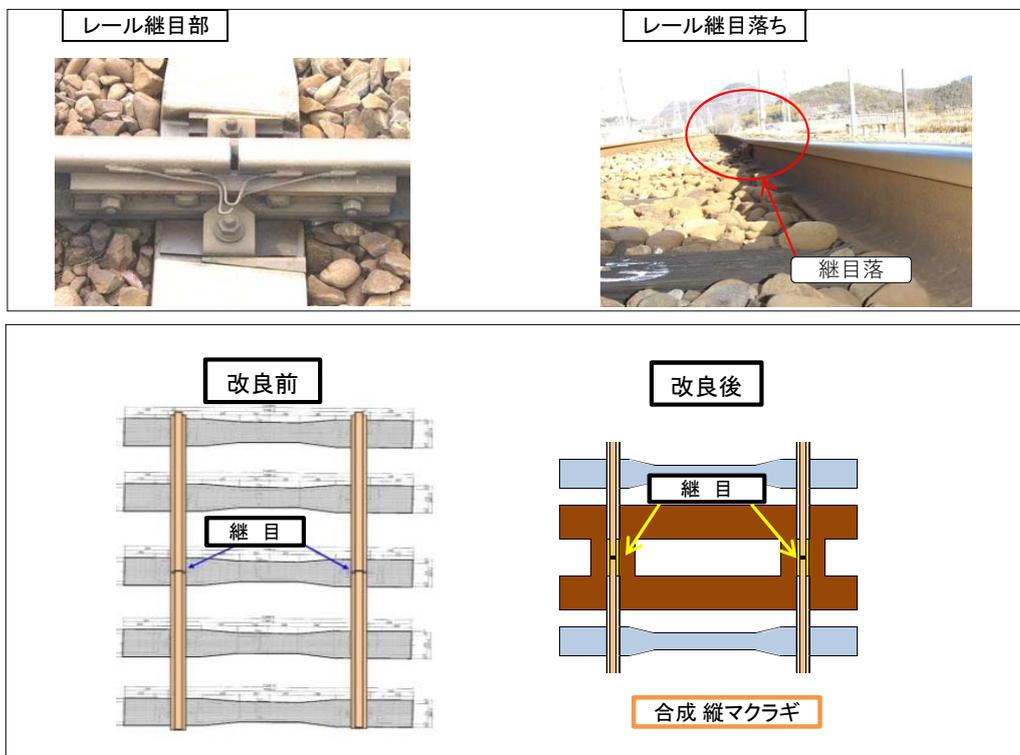
予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：内田、岩崎

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
16 継目部改良工事	

(1 事業目的・内容)

軌道は、通常1本あたり25mのレールを継目板によって繋ぎ合わせており、その部分をレール継目部といいます。
 この継目部は、列車の通過による衝撃が大きいため、継目板の切損及び継目落ちが発生しやすく、これが増大すると列車の上下動が大きくなることで軌道破壊につながり、安全な列車の運行ができなくなります。また、振動、騒音が発生しているため、常に直営又は外注工事にて補修を行っています。
 本工事は、継目落ち対策として、既存のまくらぎを合成縦まくらぎへ交換するもので、H22年度より試験施工を行い、その後の経過観察において、継目落ちの解消が確認されていることから、H25年度から継目落ちの著しい箇所を計画的に改良を行っています。毎年4か所ずつ行う計画としていますが、来年度は事業の見直しにより、現場調査の結果優先的に行うべきと判断された2か所の継目部改良を行います。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

	5年度 A	4年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	4,367,124	3,963,521	403,603

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
建1 上大岡駅改良工事	1,899,095

(1 事業目的・内容)

上大岡駅は、40年以上が経過し、施設や設備機器が更新時期を迎えるなど、老朽化が進んでいます。加えて、お客様の利便性向上及び駅周辺のバリアフリー化に寄与するため、京急側改札口に地上行きエレベーターの新設、また順次採用が予定されている女性職員用施設の整備等を含む駅全体のリニューアルを行います。
そのため、H29年度に基本設計、H30年度に実施設計、R2年度から改良工事に着手し、駅利用者へ快適な駅空間の提供を行うとともに、各種設備機器の更新も実施するものです。

<年次計画>

(千円)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	計
基本計画	10,260								10,260
基本設計		61,992							61,992
実施設計			130,096	6,776 ^{※1}					136,872
工事				34,936 ^{※2}	70,680	573,858	1,431,242	1,899,095	4,009,811

※実績 ※実績 ※実績 ※実績 ※実績 ※実績 ※実績 ※決算見込

※1:実施設計(その2) 6,776千円

※2:上大岡駅冷却塔更新工事 32,703千円

上大岡駅エレベーター新設工事に伴う支障電気工作物移設工事 2,233千円



京急連絡改札口側地上行きエレベーター(イメージ図)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有 1995-00145、1996-00165
 無

(5 補助対象の有無)

- 有 (地下高速鉄道整備事業補助)
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費	1,431,242	1,899,095				3,330,337
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
建3 上永谷駅改良工事	

(1 事業目的・内容)

上永谷駅は、中期経営計画(平成27～30年度)の中で「地下鉄駅の大規模改良工事の実施」として、平成30年度に調査設計を行いました。
 本事業では、施設の老朽化対策や各設備の更新に合わせ、駅全体を一体的にリニューアルするもので、駅務施設、トイレ、女性職員用施設、ホーム屋根等を含む改修を行い、お客様への快適な駅空間の提供や職員の執務環境の改善を図ります。
 今後、本事業を計画するにあたり、前回の調査設計結果や関係課の予定する事業ならびに総合調整を前提に改修範囲・内容を策定する必要があることから、下記年次計画に基づき、本事業を進めるものです。

(単位:千円)

工種	R5	R6	R7	R8	R9	計
	基本計画					
		基本設計				
			実施設計			
				工事		
基本計画						
基本設計						
実施設計						
工事(建築、電気、機械)						
計						

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
建4 桜木町駅出入口上屋改修工事	

(1 事業目的・内容)

桜木町駅内装改修その他工事(建築工事)において、出口1の天井仕上げを改修するにあたり、仕上げ材を解体した際、既存屋根の腐食が判明しました。既存屋根の状態からの補修は不可能であり、葺き替え等が必要となるため、桜木町駅内装改修その他工事(建築工事)では仮設天井の設置とコーキング打ち換えを実施しました。
本工事は、既存屋根、仮設天井を撤去し、既存と同等の屋根を設置するものです

現状写真

仮設天井



計画	
令和4年度	設計
令和5年度	工事

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費	4,510					
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
建5 手洗所改良その他工事	

(1 事業目的・内容)

センター南駅の旅客トイレは、老朽化が進み、部分的な補修では対応することができなくなっているため、令和5年度に改修工事を行います。また、あわせて、センター南駅のコンコース床すべり止め、軌道内鳥害対策その他工事も行います。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
伊勢佐木長者町		→ 工事	
センター南			→ 工事
工事費	36,990	64,400	
	※実績	※決算見込額	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事 業 費	64,400					
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
建6 職員用施設改修工事	

(1 事業目的・内容)

ブルーラインの各駅においては、女性職員用施設(手洗所、更衣室、シャワー室)等が未整備の状況です。近年、女性駅務員が増え
ており、これに対応するため女性職員用施設の整備が必要となっております。
令和5年度につきましては、港南中央駅および上永谷保守管理所において工事を行います。

(単位:千円)

実施駅	R1	R2	R3	R4	R5	R6
湘南台、立場	→ 工事					
戸塚	→ 設計	→ 工事				
港南中央		→ 設計			→ 工事	
上永谷保守管理所				→ 設計	→ 工事	
新羽駅、新羽乗務管理所					→ 設計	→ 工事
上永谷信号扱所					→ 設計	→ 工事
関内、新横浜、阪東橋、 上大岡、上永谷	駅改良工事にて整備					
工事費	99,746	222,627	66,886	0		
	※実績	※実績	※実績	※決算見込		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目 款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	担当 所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤
---	-------------------------------

(単位：千円)

【事業内容】	5年度予算額
建7 職員用施設改修工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

ブルーラインの各駅においては、女性職員用施設(手洗所、更衣室、シャワー室)等が未整備の状況です。近年、女性駅務員が増えており、これに対応するため女性職員用施設の整備が必要となっております。また、女性乗務員も増えており、乗務管理所及び信号扱所の女性職員用施設の整備も必要となります。

令和5年度につきましては、上永谷信号扱所、新羽駅、新羽乗務管理所において女性職員用施設を増設する工事の設計を行います。

(単位：千円)

実施駅	R1	R2	R3	R4	R5	R6
湘南台、立場	→ 工事					
戸塚	→ 設計	→ 工事				
港南中央		→ 設計			→ 工事	
上永谷保守管理所				→ 設計	→ 工事	
新羽駅、新羽乗務管理所					→ 設計	→ 工事
上永谷信号扱所					→ 設計	→ 工事
関内、新横浜、阪東橋、上大岡、上永谷	駅改良工事にて整備					
設計費	8,240	7,579	0	7,810		
	※実績	※実績	※実績	※決算見込		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総額
事業費	8,866					
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
建8 軌道内対向壁解体工事	

(1 事業目的・内容)

一・二次開業駅(上永谷～横浜)の塩害区間のうち老朽化が進んでいる駅や駅改良工事に併せて計画的に撤去及びリニューアルを行います。

	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
調査	横浜 桜木町 吉野町	高島町 伊勢佐木長者町							
設計			吉野町(解体)		伊勢佐木長者町 (解体)	桜木町(解体) 吉野町(新設)	横浜(解体)	伊勢佐木長者町 (新設)	桜木町(新設)
工事			※関内(完了)	※上大岡 吉野町(解体) ※阪東橋(完了)	※上大岡(完了) 吉野町(解体)	伊勢佐木長者町 (解体)	桜木町(解体) 吉野町(新設)	横浜(解体)	伊勢佐木長者町 (新設)

※改良工事にて実施

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費	23,646					
債務負担設定	35,469					35,469

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
建9 軌道内対向壁解体工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

一・二次開業駅(上永谷～横浜)の塩害区間のうち老朽化が進んでいる駅や駅改良工事に併せて計画的に撤去及びリニューアルを行います。

	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
調査	横浜 桜木町 吉野町	高島町 伊勢佐木長者町							
設計			吉野町(解体)		伊勢佐木長者町 (解体)	桜木町(解体) 吉野町(新設)	横浜(解体)	伊勢佐木長者町 (新設)	桜木町(新設)
工事			※関内(完了)	※上大岡 吉野町(解体) ※阪東橋(完了)	※上大岡(完了) 吉野町(解体)	伊勢佐木長者町 (解体)	桜木町(解体) 吉野町(新設)	横浜(解体)	伊勢佐木長者町 (新設)

※改良工事にて実施

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
建10 ブルーラインホーム改良工事	

(1 事業目的・内容)

現在、ブルーラインはプラットホームと車両床面との段差・隙間があり、車椅子利用等のお客様がご乗車される際は、駅職員の介助が必要となっています。

令和元年10月にバリアフリー整備ガイドラインが改正され、段差・隙間の目安値が示されたことで、全国的に段差・隙間縮小に向けた動きが活発化しており、当局では令和3年度の東京オリンピック前に新横浜駅(4扉分)を施工し、令和4年度に新横浜駅以外のブルーライン全31駅の実施設計を行いました。

令和5年度は4駅を工事します。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総額
事業費	94,028					
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
建11 ガラス垂壁補強工事	

(1 事業目的・内容)

令和3年6月に発生した蒔田駅ホーム天井部の防煙垂れ壁の落下を受け、ホーム部に同様のガラス製垂れ壁設置駅である5駅(横浜、吉野町、蒔田、戸塚、立場)の内、補強対応が未実施となっている3駅(横浜、吉野町、立場)について令和4年度に履行予定の調査・設計委託を基に、令和5年度から補強工事を行います。

なお、吉野町駅については、軌道内対向壁解体工事に伴い仮設列車誘導無線が垂れ壁近接部に設置予定のため、当該無線の撤去時期にあわせて補強工事を行います。

(単位:千円)

工種	R5	R6	R7	R8	R9	計
調査・設計						
工事						
					工事	
調査・設計業務委託						
工事(横浜、立場)						
工事(吉野町)						
計						

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費	14,883					
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
建12 駅浴室改修工事	

(1 事業目的・内容)

横浜駅は開業から50年以上経過し、施設の各所が老朽化しています。特に職員用の浴室及び脱衣室は長年の使用と湿気により著しい劣化が生じているため、R4年度の実施設計を基に、浴室のシャワーユニットへの改修及び脱衣室の改修、これらに伴う設備の改修工事を行います。



横浜駅 浴室(左)及び脱衣室(右)の現況

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総額
事業費	6,116					
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

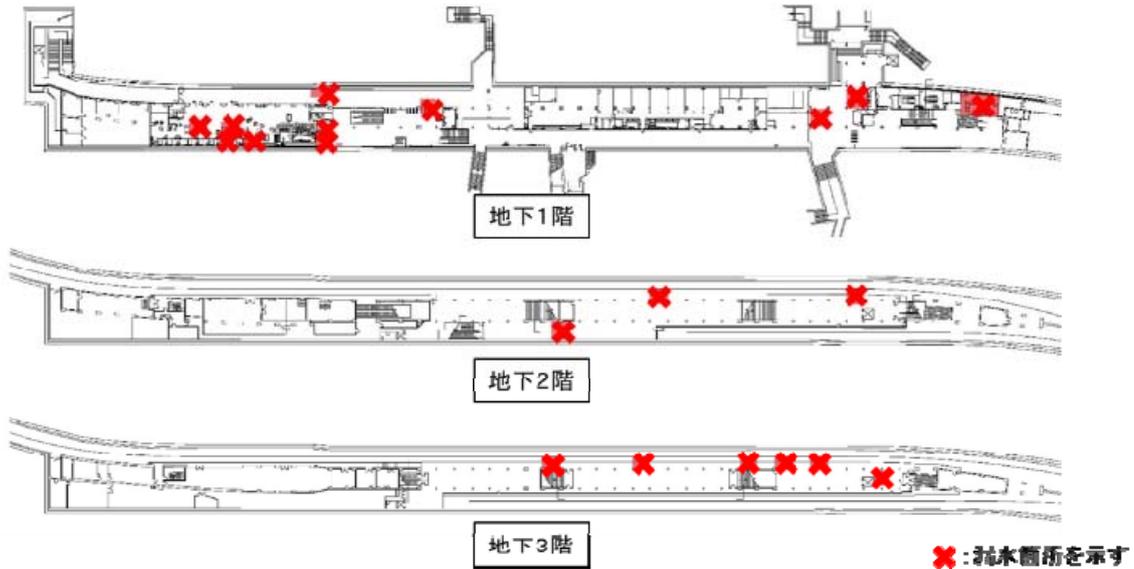
【事業内容】	5年度予算額
建13 関内駅漏水対策工事	

(1 事業目的・内容)

関内駅では、コンコースやホーム、職員用施設など天井からの漏水が多数発生しており、お客様に多大なご迷惑おかけしている状態です。また、漏水箇所には仮の受樋を設置するなど、応急処置を施していますが、現状のままでは天井内の下地や機械設備、電気設備の不具合・腐食が発生するため、恒久的な処置として天井内での漏水対策が必要です。

令和5年度は、天井解体工事を行うとともに、漏水対策工事(令和6年予定)に向けた調査・設計を行います。

漏水位置図(令和3年度以降 計20か所以上)



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
建14 川和町駅鳩対策工事	

(1 事業目的・内容)

川和町駅ホーム階屋根の梁上に多くの鳩が飛来し、糞がホーム上に糞が落ちてお客様に当たってしまう事象が発生しております。

それに伴い、梁上にバードスパイク(鳥類の飛来を防止する装置)を設置し、鳩の停留を防ぎます。



鳩停留状況



バードスパイク設置状況

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
建15 屋上防水更新	

(1 事業目的・内容)

近年、地下鉄駅舎、保守用施設の漏水の発生件数が増加しています。駅舎部での漏水の発生は、お客様にご迷惑をかけるとともに、転倒などのリスクもあります。また、保守用施設における漏水の発生により、施設内の機器の故障や、運行に必要な保守点検業務に影響がでている状態です。

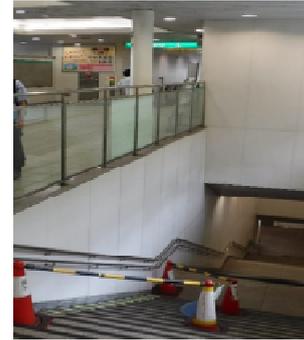
施設の長寿命化に加え、お客様に快適な駅空間を提供できるよう、今後は計画的な屋上防水の更新を進めます。

(1)現況



保守用施設屋上

(変色している部分が漏水が発生し、応急対応した箇所)



駅舎内での漏水の発生

(コンコースでの漏水の発生)

(2)事業スケジュール

現況で漏水が頻発している施設より改修を進める。

実施駅(内容)	R5	R6
新羽車両基地(検車庫、事務所棟屋上防水)	設計	工事
日吉本町駅(駅舎屋上防水)	設計	工事
下飯田駅(避難階段屋上防水)	工事	
川和町駅(ホーム下防水改修)	工事	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

 有
 無

 有
 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
建16 吉野橋ポンプ場ほか改良工事	

(1 事業目的・内容)

老朽化が進み、部分的な補修では対応することができなくなっている市営地下鉄施設の工事を行います。

工事箇所	工事内容
吉野橋ポンプ場	鉄骨階段更新



鉄骨階段腐食

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
--------	--------

設1 エスカレーターのリニューアル

(1 事業目的・内容)

お客様に安全かつ快適な設備をご利用いただき続けていくため、設置後長期間(30年)経過したブルーラインのエスカレーターを計画的に更新・リニューアルを実施します。

現在、ブルーラインには、稼動年数30年を超えるエスカレーターが22台あります。

(三ツ沢下町駅7台、片倉町駅5台、三ツ沢上町駅8台、岸根公園駅2台)

これらのエスカレーターは、今後、経年劣化によって機能が低下し、さらに老朽化していく状況にあります。機能維持に要する保守部品の確保も困難になることが予想されるため、各駅各機種に応じた設備機能の改善とバリアフリー対応機能を付加したエスカレーターへのリニューアルを実施し、安全性や快適性・省エネ性を向上させます。

■ エスカレーターリニューアル計画

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備 考
工事施工	下永谷(2台)			1号機・2号機
	下町	(3台) 下町	(4台)	1号機・2号機・3号機・4号機・5号機・6号機・7号機

※令和5年度実施予定駅

三ツ沢下町駅 (昭和60年設置)※ラチ内 B1F~B4F

※エスカレーターリニューアル実施済の駅

- ①平成26年 桜木町駅 2基
- ②平成28年 関内駅 4基
- ③平成29年 横浜駅 2基
- ④平成30年~令和2年 高島町駅 6基(2基/年)
- ⑤令和3年 桜木町駅1基、新横浜駅1基

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

- | | | | |
|---------------------------------------|---------------|------------------|---------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 1984-20-00117 | 三ツ沢下町駅1号機エスカレーター | <input type="checkbox"/> 有 |
| <input type="checkbox"/> 無 | 1984-20-00118 | 三ツ沢下町駅3号機エスカレーター | <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| | 1984-20-00119 | 三ツ沢下町駅2号機エスカレーター | |
| | 1984-20-00120 | 三ツ沢下町駅4号機エスカレーター | |

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費	154,330					
債務負担設定	258,960					

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
設2 エレベーターのリニューアル	234,199

(1 事業目的・内容)

お客様により安全・安心かつ快適な設備をご利用いただき続けていくため、改正されている建築基準法の適合化を含め、計画的なエレベーターの更新を行います。

■エレベーターリニューアル計画

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
湘南台(1基)		工事		
* 新横浜(2基)	工事 (内1基新設)			
* 上大岡(4基)		工事 (内2基新設)		
中田(3基)	工事 (2基)		工事 (1基)	
仲町台(2基)		設計	工事	
中川(3基)			設計	工事
桜木町(1基)			設計	工事
設計費	0	2,959		
工事費	98,764	91,553	234,199	
計	98,764	94,512		

* 各改良工事にて計上 ※実績 ※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

■ 有	中田EV1号機	:1999-20-01301	□ 有
□ 無	仲町台EV1号機	:1992-20-00681	■ 無
	仲町台EV2号機	:1992-20-00682	
	湘南台EV1号機	:1999-20-01318	

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費	91,553	234,199				325,752
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
設3 エレベーターのリニューアル(設計)	

(1 事業目的・内容)

お客様により安全・安心かつ快適な設備をご利用いただき続けていくため、改正されている建築基準法の適合化を含め、計画的なエレベーターの更新を行います。

■エレベーターリニューアル計画

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
湘南台(1基)		工事		
* 新横浜(2基)	工事 (内1基新設)			
* 上大岡(4基)		工事 (内2基新設)		
中田(3基)	工事 (2基)		工事 (1基)	
仲町台(2基)		設計	工事	
中川(3基)			設計	工事
桜木町(1基)			設計	工事
設計費	0	2,959		
工事費	98,764	91,553	234,199	
計	98,764	94,512		

*各改良工事にて計上 ※実績 ※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事 業 費	2,928					
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
設4 動力監視盤改修工事	120,469

(1 事業目的・内容)

地下鉄各駅及び車両基地には、換気空調設備・給排水消火設備・昇降機設備の運転・故障状況の管理監視また各設備のスケジュール自動運転を行うための、動力監視盤を設置しています。特に平成5年3月に開業したあざみ野線各駅に設置した監視盤では、現在、稼働年数の経過による劣化が進行しており、故障部品が製造中止になるなど、復旧に遅れが生じ、監視機能を維持できなくなる可能性があります。この状態を放置し、監視盤が起動しなくなった場合、特にエレベーター・エスカレーター監視や空調スケジュール運転ができないなど、駅業務等に多大な支障を及ぼすため、計画的な更新を行います。

また、新羽車両基地においては、駅換気送風機等の遠方操作(効率管理)を行うための、遠隔システムを整備します。

実施駅(予定)	R4	R5 (予定)	R6 (予定)	R7 (予定)
仲町台	●工事	●工事		
新羽車両基地		□設計		●工事
伊勢佐木長者町		□設計	●工事	
中田		●工事		
立場	□設計	●工事		
下飯田	□設計		●工事	
湘南台	●工事			
設計費	2,816			
工事費	50,785	120,469	—	—
各年度計	53,601			

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費	96,679	120,469				217,148
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
設5 動力監視盤改修工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

地下鉄各駅及び車両基地には、換気空調設備・給排水消火設備・昇降機設備の運転・故障状況の管理監視また各設備のスケジュール自動運転を行うための、動力監視盤を設置しています。特に平成5年3月に開業したあざみ野線各駅に設置した監視盤では、現在、稼働年数の経過による劣化が進行しており、故障部品が製造中止になるなど、復旧に遅れが生じ、監視機能を維持できなくなる可能性があります。この状態を放置し、監視盤が起動しなくなった場合、特にエレベーター・エスカレーター監視や空調スケジュール運転ができないなど、駅業務等に多大な支障を及ぼすため、計画的な更新を行います。

また、新羽車両基地においては、駅換気送風機等の遠方操作(効率管理)を行うための、遠隔システムを整備します。

実施駅(予定)	R4	R5 (予定)	R6 (予定)	R7 (予定)
仲町台	●工事	●工事		
新羽車両基地		□設計		●工事
伊勢佐木長者町		□設計	●工事	
中田		●工事		
立場	□設計	●工事		
下飯田	□設計		●工事	
湘南台	●工事			
設計費	2,816			
工事費	50,785	120,469	-	-
各年度計	53,601			

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事 業 費	2,816					
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
設6 排水ポンプほか更新工事	

(1 事業目的・内容)

駅には、給水用、汚水用、中水(トイレ洗浄)用、またトンネル勾配に合わせ設置する排水(湧水)用ポンプがあり、各ポンプは設置から10年~40年以上が経過し、ポンプ本体及び配管・付属装置が老朽化しています。排水ポンプの突発的な故障は、湧水の排出ができなくなり列車の運行に支障を来す恐れがあり、また給水、汚水、中水ポンプの故障により、駅機能(主にトイレの使用不可)が低下するため、各ポンプが必要な機能を発揮できる状態に維持するため、ポンプ及び付属装置の更新工事を行います。

対象機器	R3年度設計・R4~5年度工事	R4年度設計・R5年度工事	R5年度設計・R6年度工事
排水ポンプ	三ツ沢下町 2台(平成14年) 阪東橋 2台(昭和62年)	湘南台 2台(平成11年) 和泉町中間 3台(平成11年) 広町中間 2台(平成11年) 中田 2台(平成11年) 吉田町中間※R5・6年度工事	篠原中間 2台(平成12年) 新横浜駅 2台(昭和59年) 新横浜第2中間 2台(平成8年) 鶴見川第1・第2 2台(昭和59年) 長島中間 3台
給水ポンプ	上永谷基地 (検車区)2台(平成10年) (保守区)2台(昭和50年) (修繕工場)2台(平成16年)		
汚水ポンプ	下永谷 2台(平成13年)	湘南台 2台(平成11年) 下飯田 2台(平成11年) 中田 4台(平成11年)	新横浜駅 4台(平成16年)
中水ポンプ			篠原中間 1台(平成12年) 新横浜駅 2台
攪拌機	三ツ沢下町 1台(新設)	下飯田 1台(新設) 中田 1台(新設)	

予算年度	R4年度	R5年度	R6年度
設計費	8,998		
工事費	81,979		
計	90,977		

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費	81,979					
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
設7 排水ポンプほか更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

駅には、給水用、汚水用、中水(トイレ洗浄)用、またトンネル勾配に合わせ設置する排水(湧水)用ポンプがあり、各ポンプは設置から10年~40年以上が経過し、ポンプ本体及び配管・付属装置が老朽化しています。排水ポンプの突発的な故障は、湧水の排出ができなくなり列車の運行に支障を来す恐れがあり、また給水、汚水、中水ポンプの故障により、駅機能(主にトイレの使用不可)が低下するため、各ポンプが必要な機能を発揮できる状態に維持するため、ポンプ及び付属装置の更新工事を行います。

対象機器	R3年度設計・R4~5年度工事	R4年度設計・R5年度工事	R5年度設計・R6年度工事
排水ポンプ	三ツ沢下町 2台(平成14年) 阪東橋 2台(昭和62年)	湘南台 2台(平成11年) 和泉町中間 3台(平成11年) 広町中間 2台(平成11年) 中田 2台(平成11年) 吉田町中間※R5・6年度工事	篠原中間 2台(平成12年) 新横浜駅 2台(昭和59年) 新横浜第2中間 2台(平成8年) 鶴見川第1・第2 2台(昭和59年) 長島中間 3台
給水ポンプ	上永谷基地 (検車区)2台(平成10年) (保守区)2台(昭和50年) (修繕工場)2台(平成16年)		
汚水ポンプ	下永谷 2台(平成13年)	湘南台 2台(平成11年) 下飯田 2台(平成11年) 中田 4台(平成11年)	新横浜駅 4台(平成16年)
中水ポンプ			篠原中間 1台(平成12年) 新横浜駅 2台
攪拌機	三ツ沢下町 1台(新設)	下飯田 1台(新設) 中田 1台(新設)	

予算年度	R4年度	R5年度	R6年度
設計費	8,998		
工事費	81,979		
計	90,977		

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費	8,998					
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
設8 排水メーター更新	

(1 事業目的・内容)

駅及び中間ポンプ所の各ポンプ(中水(トイレ洗浄)、排水(湧水)ポンプ)には正確な送水量を計測するため、排水メーター(電磁式積算流量計)が設置されています。(※河川放流をのぞく)排水メーターは計量法により、8年ごとの交換が定められています。法令順守および正確な送水量を計測するため、計画的な交換を行います。

■ 排水メーター更新

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
施工場所	舞岡駅ほか 6か所 11個	湘南台駅ほか 13か所 29個	港南区庁舎中水送水用 2 個

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事 業 費	11,734					
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

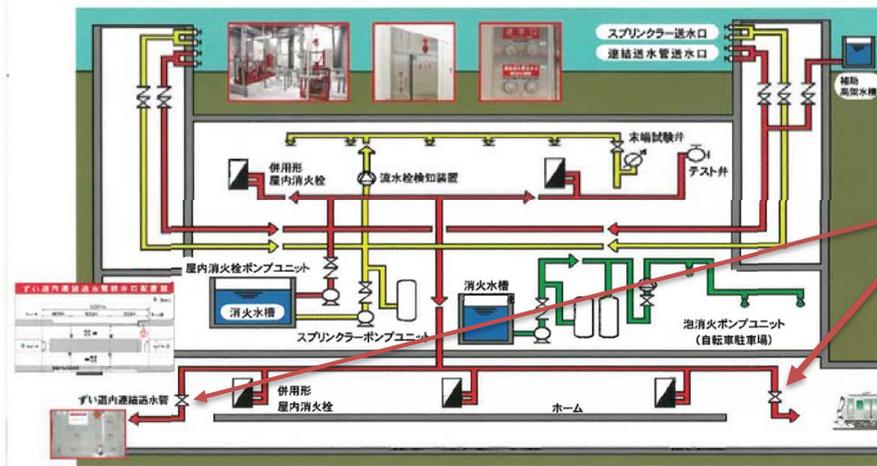
予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
設9 防災設備更新工事(連結送水管)	

(1 事業目的・内容)

地下鉄駅舎間のトンネル内には、火災の発生時に消火活動を行うため、駅間において500mを超える場合に連結送水管が設置されています。桜木町駅から高島町駅間において設置されている連結送水管は、平成13年10月に設置されており、トンネル内の漏水や経年劣化により配管の損傷が著しい状況です。よって、防災設備の機能維持のため更新工事を行います。



ずい道内連結送水管

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

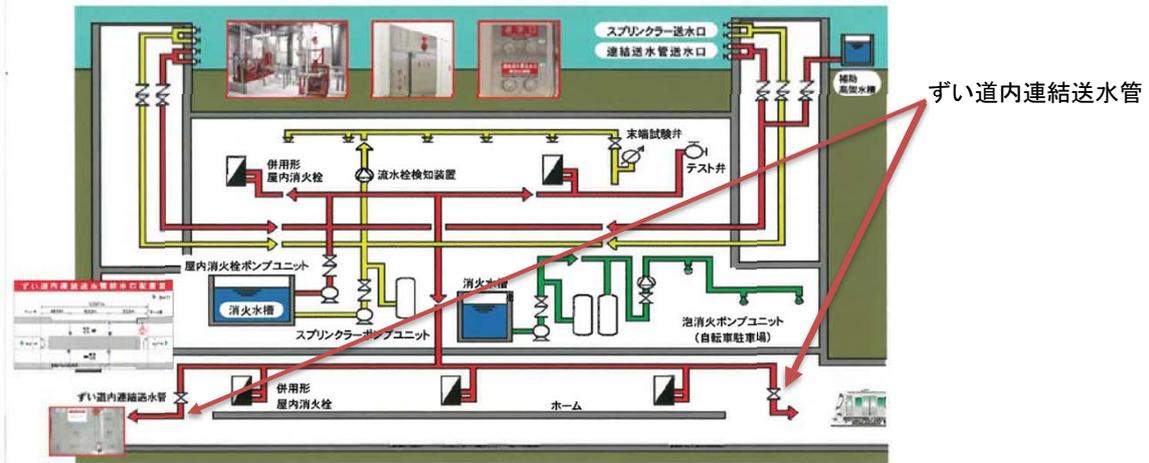
予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
設10 防災設備更新工事(連結送水管)(設計)	

(1 事業目的・内容)

地下鉄駅舎間のトンネル内には、火災の発生時に消火活動を行うため、駅間において500mを超える場合に連結送水管が設置されています。横浜駅から三ツ沢下町駅間において設置されている連結送水管は、昭和59年7月に設置されており、トンネル内の漏水や経年劣化により配管の損傷が著しい状況です。よって、防災設備の機能維持のため改修工事に係る設計を行います。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費	2,783					
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
設11 ずい道換気送風機更新工事	

(1 事業目的・内容)

ずい道換気送風機は、ずい道（トンネル）内に滞留する列車排熱や粉じん等の除去など地下空間の環境を維持するほか、列車火災発生時には排煙設備として、屋外に煙を排出するための設備です。

本設備は、昭和50年のブルーライン横浜・上永谷延伸以降の駅間の換気設備として、9か所の中間換気所とトンネルに接続される25駅に設備され、現在、羽根車やケーシング等本体の腐食、またモーター及び軸受けの消耗により絶縁が低下傾向にあるなど老朽化が進んでいます。

良好な地下空間の環境を維持し、確実な排煙機能を確保するため更新工事を行います。

		R2	R3	R4	R5	備考
設 計	対象	片倉中間換気所	新横浜中間換気所	高島町駅	横浜駅	※駅設置のずい道換気は整風口の更新検討を含む
	台数・総出力	4台・300kW	7台・200kW	8台・282kW	5台・175kW	
	設計費	7,010	8,135	8,135		
工 事	対象	大江橋中間換気所	片倉中間換気所	新横浜中間換気所	高島町駅	
	更新内容	全更新	部分更新	部分更新	部分更新	
	工事費	111,865	100,161	116,853		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費	116,853					
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
設12 ずい道換気送風機更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

ずい道換気送風機は、ずい道（トンネル）内に滞留する列車排熱や粉じん等の除去など地下空間の環境を維持するほか、列車火災発生時には排煙設備として、屋外に煙を排出するための設備です。

本設備は、昭和50年のブルーライン横浜・上永谷延伸以降の駅間の換気設備として、9か所の中間換気所とトンネルに接続される25駅に設備され、現在、羽根車やケーシング等本体の腐食、またモーター及び軸受けの消耗により絶縁が低下傾向にあるなど老朽化が進んでいます。

良好な地下空間の環境を維持し、確実な排煙機能を確保するため更新工事の設計を行います。

		R2	R3	R4	R5	備考
設 計	対象	片倉中間換気所	新横浜中間換気所	高島町駅	横浜駅	※駅設置のずい道換気は整風口の更新検討を含む
	台数・総出力	4台・300kW	7台・200kW	8台・282kW	5台・175kW	
	設計費	7,010	8,135	8,135		
工 事	対象	大江橋中間換気所	片倉中間換気所	新横浜中間換気所	高島町駅	
	更新内容	全更新	部分更新	部分更新	部分更新	
	工事費	111,865	100,161	116,853		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費	8,135					
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
設13 エアフィルター更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

地下駅には、良好な駅環境を維持するため、外気取り入れ口にエアフィルター設備を設置しています。エアフィルター設備は、設置から長期間、使用しつづけ、著しい汚れの付着による目詰まりが頻繁に発生し、捕集した粉じん等を取り除く真空掃除機に負荷が係りモーター不良や捕集口の脱落故障につながり、都度修理を重ねている状況です。

現在、低下してきている捕集性能を改善し、良好な駅環境を維持するため、計画的な更新設計を行います。

		R2	R3	R4	R5	備考
設 計	1号線	—			湘南台、矢沢中間	
	3号線	桜木町、下町、あざみ野			—	
	設計費	3,000				
工 事	1号線	踊場、弘明寺、長者町	—	—		
	3号線	—	桜木町、三ツ沢下町	あざみ野駅		
	工事費	32,120	27,083	41,246		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
設14 信号機器室系統空調機更新工事	

(1 事業目的・内容)

列車運行を担う信号機器室には、各信号機器の発生熱を回収し、室内環境を維持するため、専用の冷房装置を設置しております。設置から15年以上を経過し、能力が低下して、十分な冷房効果が得られない空調機について、計画的に更新を行います。また、空調機を2系統化して安全性を向上させます。

冷媒に特定フロンR22の代替としてR407Cが使用されている空調機については、故障が頻発しています。これらのことから、列車運行を支える機器室等の空調機について、駅単位での計画的な更新を行います。

更新計画

駅名	設置年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
弘明寺	平成12年	工事			
高島町	平成4年	工事			
三ツ沢上町(電気室)	昭和60年	工事			
片倉町	新設		工事	工事	
舞岡	平成14年			設計	工事
三ツ沢上町	平成15年		設計	工事	
三ツ沢下町(横浜方)	平成15年		設計	工事	
設計		0	6,490		
工事		44,195	4,400		

実績 決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費	11,000					
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
設15 信号機器室系統空調機更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

列車運行を担う信号機器室には、各信号機器の発生熱を回収し、室内環境を維持するため、専用の冷房装置を設置しております。設置から15年以上を経過し、能力が低下して、十分な冷房効果が得られない空調機について、計画的に更新を行います。また、空調機を2系統化して安全性を向上させます。

冷媒に特定フロンR22の代替としてR407Cが使用されている空調機については、故障が頻発しています。これらのことから、列車運行を支える機器室等の空調機について、駅単位での計画的な更新を行います。

更新計画

駅名	設置年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
弘明寺	平成12年	工事			
高島町	平成4年	工事			
三ツ沢上町(電気室)	昭和60年	工事			
片倉町	新設		工事	工事	
舞岡	平成14年			設計	工事
三ツ沢上町	平成15年		設計	工事	
三ツ沢下町(横浜方)	平成15年		設計	工事	
設計		0	6,490		
工事		44,195	4,400		

実績 決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費	6,490					
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
設16 事務室系空調機更新工事	202,915

(1 事業目的・内容)

駅などの事務室系の空調は、事務室・仮眠室・券売機室・電気諸室といった使用用途によってゾーンニングしており、各系統ごと施設の規模や特性に見合う空調方式にて冷暖房装置を設置しています。これまでの空調機更新は、年式の古いもの、また故障率の高いものを順次部分的に更新を行ってきました。このため、設置から15年以上を経過し、冷暖房能力が低下している空調機が点在しています。また設置から20年を経過した空調機は故障率が増加傾向にあります。

さらに平成14年以前に設置した空調機のお大半は、冷媒に指定フロンR22が使用されています。指定フロンは、オゾン層の保護また地球温暖化防止対策を目的に令和2年から生産全廃となっており、補充用冷媒の確保も困難な状況になるため、指定フロンから代替フロンへの機器更新が不可欠となります。これらのことから施設単位での空調機の計画的な更新工事を行います。

■ 空調機更新計画

	設置年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新羽車両基地(主配電盤室)	平成6年	工事		
新羽車両基地(電源室)	新規	工事		
新羽車両基地(総合司令所)	平成14年	工事		
新羽車両基地(データ集計室)	平成16年		工事	
新羽車両基地(会議室)	平成5年		工事	
安全教育センター	平成12年		工事	
安全教育センター(体育館)※	新規		設計	工事
岸根公園	平成15年	設計	工事	
港南中央・上永谷保守管 ※		設計	工事	
新羽(乗管舎)・上永谷信号扱所・新羽保守管(信号扱所・司令所舎) ※			設計	工事
日吉本町	新規	工事		
高島町			設計	工事
設計費	—	4,433		
工事費	—	123,173	202,915	

※別予算にて計上

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

 有
 無

(5 補助対象の有無)

 有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費	152,091	202,915				355,006
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
設17 事務室系空調機更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

駅などの事務室系の空調は、事務室・仮眠室・券売機室・電気諸室といった使用用途によってゾーニングしており、各系統ごと施設の規模や特性に見合う空調方式にて冷暖房装置を設置しています。これまでの空調機更新は、年式の古いもの、また故障率の高いものを順次部分的に更新を行ってきました。このため、設置から15年以上を経過し、冷暖房能力が低下している空調機が点在しています。また設置から20年を経過した空調機は故障率が増加傾向にあります。

さらに平成14年以前に設置した空調機のお大半は、冷媒に指定フロンR22が使用されています。指定フロンは、オゾン層の保護また地球温暖化防止対策を目的に令和2年から生産全廃となっており、補充用冷媒の確保も困難な状況になるため、指定フロンから代替フロンへの機器更新が不可欠となります。これらのことから施設単位での空調機の計画的な更新工事を行います。

■ 空調機更新計画

	設置年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新羽車両基地(主配電盤室)	平成6年	工事		
新羽車両基地(電源室)	新規	工事		
新羽車両基地(総合司令所)	平成14年	工事		
新羽車両基地(データ集計室)	平成16年		工事	
新羽車両基地(会議室)	平成5年		工事	
安全教育センター	平成12年		工事	
安全教育センター(体育館)※	新規		設計	工事
岸根公園	平成15年	設計	工事	
港南中央・上永谷保守管 ※		設計	工事	
新羽(乗管舎)・上永谷信号扱所・新羽保守管(信号扱所・司令所舎) ※		設計	工事	
日吉本町	新規	工事		
高島町			設計	工事
設計費	—	6,050		
工事費	—	123,173	202,915	

※別予算にて計上

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事業費	6,050					
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
設18 日吉駅冷房設備改修基本計画策定業務	

(1 事業目的・内容)

駅には、快適性の向上及びお客様満足のため、ホーム冷房を整備しています。
 日吉駅の冷房装置は、屋外に設置すべき冷却塔をスペースが確保できず、地下階の機械室に設置しています。
 (冷却塔は、外気を取り入れ冷却水と接触させ、蒸発によって冷却水を冷やすものです) 現状、冷却塔から放熱される高温多湿の空気が、屋外までの入り組んだ経路に滞留し飽和状態になり漏水を引き起こし、樋掛け等漏水対応を繰り返し行っている状況です。また、冷却塔の送風圧力により仕切り壁の隙間から隣接するコンコースやエレベーターシャフトに流れ込み、表面結露や室温上昇に至っているため、詳細な現況調査を行い効果的な修繕の改修基本計画を策定する業務を委託します。

- ①現況調査
- ②劣化度評価 (修繕、更新及び改修の必要性を判断)
- ③改修基本計画の作成

■改修計画■

号線	駅	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降	備考
4	日吉	基本計画 →	基本設計・実施設計 →	工事 →	→	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
設19 給湯設備更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

駅に設置されている浴室用給湯設備は、稼動から20年を迎えるものもあり、一般的な耐用年数である15年を越え、設備の劣化が進行しています。製造から長期間経過する機器は、給湯器メーカーの在庫保有も少なくなり、故障時の修理・整備に時間を要することになるため、劣化の著しい機器を優先し計画的な更新を行い各駅の給湯機能を確保するため更新工事の設計を行います。

		R2	R3	R4	R5	R6
設 計	給湯	-	-	-	上永谷車両基地、駅舎 川和車両基地	-
		-	-	-		-
工 事	給湯	下飯田、片倉町	-	-	-	上永谷車両基地、駅舎 川和車両基地
	変電所	荏田	-	-	-	
	設計費	-	-	-		-
	工事費	10,673	-	-	-	-

※ 設計対象場所 上永谷車両基地(修繕工場、検車区)及び上永谷駅乗務管理所、川和車両基地総合事務所等



【ガス炊き蒸気ボイラー】

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：横田、田中、武藤

(単位:千円)

【事業内容】	5年度予算額
設20 除害施設更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

新羽車両基地検車区、上永谷車両基地修繕工場及び検車区にある除害施設は鉄道車体及び台車洗浄後の排水を下水に流せるよう、微細なゴミを取り除き、化学的に中和させています。除害施設は設置から30年以上が経過し、老朽化が進んでいます。修理を行いながら運用してきましたが、交換修理をするための部品入手も困難になっていることから更新を計画します。



<上永谷車両基地修繕工場除害施設>



<上永谷車両基地検車区除害施設>

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建設改良課 担当者名：岡田、近藤

(単位:千円)

	5年度 A	4年度 B	増△減(A-B)
予 算 額		633,849	

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	5年度予算額
1 ブルーライン新横浜駅と相鉄・東急直通線との交差・接続に伴う費用負担工事	

(1 事業目的・内容)

鉄道・運輸機構が整備を進めている相鉄・東急直通線事業において、新たに建設される新横浜駅(仮称)がブルーライン新横浜駅と交差・接続するため、交通局が新駅工事の一部を受託しています。交差・接続に伴う当局施設の改修等については、鉄道・運輸機構の費用負担により工事を実施しており、接続部における開口設置ほか市営地下鉄新横浜駅の出入口、換気機械室・電気室の移設工事等を負担金工事として実施しています。令和5年度は、埋設物復旧や駅改良工事を引き続き行っていきます。

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
■土木 設計		改良設計		改良設計					
工事		換気機械室工事		第5出入口工事		駅改良工事(接続開口等)			埋設物復旧
■建築・設備 設計		基本設計		実施設計					
工事				駅改良工事(前期工事)		駅改良工事(後期工事)		駅改良工事(後期その2工事)	

内訳

- ・ 駅改良(後期その2)【建築・設備】 千円
- ・ 埋設物復旧 千円

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	4年度予算	5年度予算	6年度予定	7年度予定	8年度以降	総 額
事 業 費	633,849					
債務負担設定						

令和5年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建設改良課 担当者名：岡田、近藤

(単位：千円)

【事業内容】	5年度予算額
2 ブルーライン新横浜駅と相鉄・東急直通線との交差・接続に伴う駅施設整備	
<p>(1 事業目的・内容) 横浜市西部・神奈川県中部と東京都心部とを直結する神奈川東部方面線は、その整備を独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が行っております。そのうち、相鉄・東急直通線は市営地下鉄ブルーライン新横浜駅で交差する計画となっています。市営地下鉄と相鉄・東急直通線のスムーズな乗り換えができるよう相鉄・東急直通線の開業に合わせて新しい改札口を整備することに伴う駅施設のスペース不足に対応します。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p> <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 </p>	

令和5年度 総係費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：01 建設費	所属： 技術管理部、工務部各課 担当者名： 経営管理部 経営管理課

(単位:千円)

	5年度 A	4年度 B	増△減 A - B
予算額	36,945	38,151	△ 1,206

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

細別科目名	積 算 額	積 算 項 目
49 備用品費	1,563	事務用品、現場作業用備品、書籍等
50 被服費	4,037	新規採用者、転入・異動者等への制服貸与
56 旅費	8,846	市内・市外出張旅費、検査出張旅費等
57 通信運搬費	5	切手代
60 負担金	6,940	協議会等年会費、土木積算システム負担金等
63 委託料	11,408	メール便委託等
64 手数料	1,757	各種資格試験受験料、技能講習会受講料等
65 賃借料	1,982	営繕積算システム利用料、会議室利用料等
74 広告宣伝費	12	贈答用のカレンダー購入費用
96 雑費	395	タクシー借上げ代等
合 計	36,945	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)